

令和3年版

消防年報



垂水市消防本部



令和4年刊行

はじめに

この年報は、垂水市の消防現勢及び令和3年度中の消防業務に関する諸般の事項を集録し、消防事情を紹介するとともに、将来の参考に資するために、編集したものであります。

なお、この年報の統計資料は、原則として歴年をもってあらわし、予算に係のある事項については、会計年度で作成し、それ以外のものについては、当該表にそれぞれ記載した年月日現在をもって表してあります。

令和4年7月

垂 水 市 消 防 本 部

— 目 次 —

総 括

1	垂水市の位置と地勢	1
2	垂水市の広望	2
3	垂水市消防本部・署及び牛根分遣所の位置	2
4	垂水市の面積及び世帯と人口	3
5	消防車両一覧	4
6	統計	6
7	垂水市消防沿革概要	7
8	分布図	1 5
9	平面図	1 7
1 0	消防本部（署）の市町村相互応援協定	1 9
1 1	消防団の市町村相互応援協定	1 9

組 織

1	組 織	2 1
2	事務分掌	2 1
3	垂水市消防本部組織図	2 4
4	歴代消防長	2 5
5	消防職員の階級別年齢	2 5
6	消防職員の在職年数調べ	2 6
7	消防力の基準と現有	2 6
8	消防職員教養状況	2 7
9	消防決算	2 8

消防資機材

1	垂水市消防機器配置状況	3 0
2	消防ポンプ自動車	4 6
3	山林火災用資機材置場	4 6
4	消防水利	4 6
5	特殊資機材配置一覧表	4 7
6	車庫及び機材・資材置場	4 9
7	退避壕	4 9

救急・救助

1	年別救急業務取扱状況	5 0
2	過去5年間の救急業務実施状況	5 1
3	時間帯別・曜日別救急出場状況	5 2
4	事故種別年齢区分別搬送人員	5 3
5	被搬送者の疾病程度	5 4
6	現場到着所要時間別出場件数調	5 5
7	収容所要時間別搬送人員調	5 5
8	救急隊員の行った応急処置状況	5 6
9	救助活動	5 7

火 災

1	年別火災発生状況	5 9
2	過去5年間の原因別火災件数	6 0
3	令和3年中火災発生状況	6 1
4	垂水市における主な建物火災	6 1
5	自主防火団体	6 2

予防・危険物

1	防火対象物現況	6 3
2	危険物施設数	6 4
3	建築同意事務処理状況	6 4

気 象

1	年間降水量	6 5
2	気 象	6 5

通 信

1	無線局配置状況	6 6
2	緊急通報内容	6 8

消 防 団

1	歴代消防組頭・警防団長・消防団長	7 1
2	垂水市消防団の出動区分	7 2
3	災害時消防団配置	7 2
4	垂水市消防団編成表	7 3
5	分団別消防ポンプ自動車	7 4
6	分団別小型動力ポンプ	7 5
7	垂水市消防団現勢	7 6
8	階級別団員数	7 7
9	勤続年数別団員数	7 7
1 0	年齢別団員数	7 8
1 1	消防団出動状況	7 8
1 2	消防団員教養状況	7 9
1 3	消防団員の報酬及び手当	7 9

総括



1 垂水市の位置と地勢

大隅半島の鹿児島湾に面するほぼ中央部、東経 130 度 42 分、北緯 31 度 29 分に位置し、東は高隈山、鹿屋市輝北町、北東は霧島市福山町に接しています。

また、南は鹿屋市古江町と隣接し、海岸線は延々 37 キロメートルにおよび鹿児島市東桜島町に隣接しています。

人口 約 1 万 4 千人、総面積 162.12 平方キロメートルであり、約 56.9% が山林になっています。およそ 1,000 戸の農家の総耕作面積は 1,240 ヘクタールで、年間平均気温が摂氏 18 度と温暖で果樹、蔬菜園芸に適し、水産および養殖業が盛んです。

また、高隈山麓の雄大な高原、高峠は自生つつじの名所で、その麓に広がる高峠高原、猿ヶ城溪谷は絶好のハイキングコースとなっています。猿ヶ城溪谷は垂水市街地から車で約 10 分程度で行くことができることから垂水市のプチ秘境と言われています。猿ヶ城溪谷と隣接する「森の駅たるみず」は宿泊施設や調理・加工室、会議室等も完備され体験観光を楽しむことができます。

大隅半島一の温泉郷である当市は、豊富な湯量をほこり、国道 220 号沿いの道の駅湯つ足り館には全長 60 メートルの、足湯も完成し訪れる人々に安らぎを与えるとともに、大正 3 年の桜島爆発でできた入江は青く美しく、紫の高隈連峰にいだかれる静かな錦江湾に面する大隅半島の玄関口であります。近年ではシーズンを迎えると映画のワンシーンのような風景を楽しむことが出来る垂水千本イチョウ園が有名です。また、平成 30 年の 11 月には道の駅たるみずはまびらがオープンし新たな観光拠点として賑わっております。

なお、大隅半島の海の交通機関として、本市と対岸鹿児島市を 35 分で結ぶカーフェリーも就航しており、垂水新港が整備され周辺には新興住宅が建並び、鹿児島市のベッドタウンとしてもますます発展しつつあります。





市章

昭和33年10月1日制定。
垂水の「タル」を組み合わせ、
住民の団結と親和の中に飛躍性
を印象づけたもの。



2 垂水市の広望

東西	11.78 キロメートル
南北	23.35 キロメートル
海岸線	37 キロメートル

3 垂水市消防本部・署及び牛根分遣所の位置

消防本部・垂水市消防署

垂水市上町112番地2
東経 130度42分09秒
北緯 31度29分22秒



牛根分遣所

垂水市二川牟田552番地7
東経 130度47分14秒
北緯 31度34分47秒



4 垂水市の面積及び世帯と人口（令和4年4月1日現在）

総面積	世帯数	人口
162.02 平方キロメートル	7,280 世帯	13,733 人

垂水市消防署管轄人口

垂水	柁原	水之上	協和	大野	新城	計
7,361	1,147	1,380	1,467	127	874	12,356

牛根分遣所管轄人口

境	二川	麓	計
525	470	382	1,377

5 消防車両一覧（令和4年4月1日現在）

（1）本署



タンク1号車
（日野 H29年購入）



タンク2号車
（日野 H19年購入）



ポンプ車
（日野 H27年購入）



電源照明車
（日野 H24年購入）



救急2号車
（トヨタ H25年購入）



救急1号車
（トヨタ H27年購入）



指令車
(トヨタ H20年購入)



防災活動車
(トヨタ H27年購入)

(2) 分遣所



資材搬送車
(ダイハツ H17年購入)



タンク車
(日野 H22年購入)



積込車
(ダイハツ R2年購入)



救急車
(トヨタ H30年購入)

6 統計（令和4年4月1日現在）



職員数 44 名
定 員 44 名



団員数 259 名
定 員 311 名



火災件数 8 件
死 者 0 名



救急件数 919 件
搬送人員 904 名



救助件数 5 件
救助人員 5 名

7 垂水市消防沿革概要

(1) 消防団

明治 初期	田神村消防2才組発足（15才～30才）
明治20年 1月16日	垂水郷田神村私設消防組発足（20才～40才 幹部44人 組員348人） 頭取 田神 前田八束
	同時に 竜吐水 6基 大綱 2筋 高張提灯 1張 とび口 24本 小樽 100個 大旗 1等
	を購入出火消防申合せ規約制定
明治25年11月10日	大ポンプ独乙型第114号並びにハンド郷筒石川島製購入
明治27年 2月	垂水村消防組設置指定村勅令第15号を受け、公設消防組発足
大正 3年 1月	桜島爆発にあたり救助活動にあたる
大正11年 4月	協和私設消防組発足
大正13年 3月 1日	牛根村私設消防組発足
大正13年 3月 1日	新城村私設消防組発足
昭和 3年 4月	柗原私設消防組発足
昭和14年 1月24日	勅令（第20号）警防団令施行に基づき垂水村警防団に改組
昭和20年 4月～8月	空襲に対して警防活動
昭和22年 4月30日	勅令（第185号）消防団令施行に基づき垂水町消防団に改組
昭和33年10月 1日	市制施行により垂水市消防団に改組
昭和44年 2月20日	日本消防協会竿頭授受賞
昭和60年 3月 6日	消防庁長官から竿頭授受賞
平成 元年11月17日	水防活動で建設大臣表彰
平成 2年 9月 1日	水防活動で内閣総理大臣表彰
平成 4年 2月13日	全国消防協会表彰旗授与
平成18年 2月24日	防災功労者消防庁長官表彰
平成19年 2月 8日	財団法人日本消防協会竿頭授受賞
平成25年 3月 6日	消防庁長官表彰旗授与
令和 2年 3月 3日	日本消防協会竿頭授受賞

(2) 消防本部

昭和39年	6月19日	消防団常備部発足（常備団員4名）
昭和40年	2月1日	常備団員1名増員
昭和40年	4月1日	常備団員1名増員
昭和41年	4月11日	常備団員2名増員
昭和42年	9月1日	常備団員1名増員
昭和43年	6月1日	常備団員5名増員
昭和43年	10月27日	一般加入電話から119番へ変更
昭和44年	4月1日	垂水市消防本部設置条例を制定 垂水市消防本部（署）設立、消防職員15名で発足 初代消防長 町田四郎 初代消防署長 前田幸利
昭和45年	5月1日	消防職員3名増員（計18名）
昭和46年	4月1日	消防職員4名増員（計22名）
昭和46年	9月1日	消防職員異動のため1名採用（計22名）
昭和46年	12月31日	消防職員1名退職（計21名）
昭和47年	4月1日	消防職員3名増員（計24名）
昭和47年	12月1日	2代目消防署長に倉岡弘人就任 消防署次長に杉之尾明就任
昭和48年	1月10日	消防職員1名退職（計23名）
昭和48年	3月22日	消防職員1名退職（計22名）
昭和48年	4月1日	消防署次長に前田真平就任
昭和48年	5月1日	消防職員2名増員（計24名）
昭和50年	1月28日	2代目消防長に枝本豊助就任
昭和50年	3月10日	鹿児島市と消防救急業務相互応援協定締結
昭和50年	4月30日	消防職員1名退職（計23名）
昭和50年	5月1日	鹿屋市と消防救急業務相互応援協定締結
昭和50年	7月5日	消防署次長に高田士朗就任
昭和50年	8月6日	消防職員1名採用（計24名）
昭和50年	8月20日	新城、牛根地区一般加入電話から119番へ変更
昭和51年	9月1日	消防職員10名増員（計34名）
昭和51年	10月1日	牛根分遣所起工式
昭和52年	3月25日	牛根分遣所竣工
昭和52年	4月1日	牛根分遣所消防職員10名で発足 初代牛根分遣所長に立山次雄就任
昭和52年	8月1日	消防本部庶務係長兼消防署次長に宮迫豊治就任
昭和53年	7月1日	消防職員2名増員（計36名）
昭和54年	3月31日	活動火山法に基づき退避豪5ヶ所新設 （脇登、小浜、桜島口、前崎、居世神）
昭和54年	4月1日	2代目牛根分遣所長に坂元清秀就任
昭和56年	4月1日	3代目牛根分遣所長に大迫徳雄就任
昭和56年	7月1日	第3代目消防長に倉岡弘人就任
昭和57年	4月1日	消防本部次長に宮迫豊治就任 消防署次長に立山次雄就任 消防本部庶務係長に西田和則就任

昭和57年	4月	1日	大隅曾於地区と消防救急業務相互応援協定締結
昭和58年	3月31日		倉岡弘人消防長定年退職
昭和58年	4月	1日	第4代目消防長に高田士朗就任
昭和58年	7月	1日	消防本部消防係長に立山次雄就任 消防本部警防係長に坂元清秀就任 消防本部予防係長に葛迫泰明就任
昭和59年	1月	1日	国分地区消防組合と消防救急業務相互応援協定締結
昭和59年	4月	1日	消防本部次長に冨田武延就任
昭和59年	7月	1日	消防職員1名市長事務部局へ異動のため1名採用（計36名） 消防署長心得に立山次雄就任 牛根分遣所長に西田和則就任 消防本部庶務係長に葛迫泰明就任 消防本部消防係長に坂元清秀就任 消防本部警防救急係長に大迫徳雄就任
昭和59年	7月31日		消防職員1名退職（計35名）
昭和59年	8月21日		消防職員1名増員（計36名）
昭和59年	11月23日		消防職員1名減（計35名）
昭和60年	4月	1日	消防職員2名市長事務部局へ異動のため3名採用（計36名） 消防署長に立山次雄就任 牛根分遣所長に町田昭典就任 第5代目消防長に宮迫豊治就任
昭和63年	4月	1日	消防職員1名市長事務部局へ移動（計35名） 消防本部次長に立山次雄就任 消防本部予防係長に大迫徳雄就任 消防本部庶務係長に水迫暁就任 消防署長に坂元清秀就任 消防本部警防救急係長に町田昭典就任 消防本部消防係長に渕之上清孝就任 牛根分遣所長に小野貢就任
昭和63年	5月20日		鹿児島県総合防災訓練開催地
昭和63年	6月	1日	消防職員1名採用（計36名）
平成2年	4月	1日	消防職員1名市長事務部局へ異動、消防職員1名採用（計36名） 消防本部消防係長に小野貢就任 牛根分遣所長に渕之上清孝就任
平成3年	4月	1日	消防職員2名市長事務部局へ異動（計34名） 第6代目消防長に立山次雄就任 消防本部次長に坂元清秀就任 消防本部予防係長に町田昭典就任 消防署長に大迫徳雄就任 消防本部警防救急係長に小野貢就任 消防本部消防係長に関修三郎就任
平成3年	4月	1日	消防職員2名採用（計36名）
平成4年	1月30日		鹿児島県消防相互応援協定締結
平成4年	4月	1日	消防本部庶務係長に関修三郎就任

平成 4年 4月 1日	消防本部消防係長に瀧之上清孝就任 牛根分遣所長に町田博文就任 消防職員 1名市長事務部局へ異動、消防職員 1名採用
平成 6年 4月 1日	消防本部警防救急係長に瀧之上清孝就任 消防本部消防係長に小野貢就任 牛根分遣所長に中島勤就任 消防職員 6名増員 (計 42名)
平成 7年 1月 24日	阪神淡路大震災に救援派遣 電源車1台 隊員3名 (大迫、寺田、岩元)
平成 7年 3月 31日	立山次雄消防長退職
平成 7年 4月 1日	第7代目消防長に川井田洸就任
平成 7年 5月 27日	消防庁長官表彰 (阪神淡路救援活動)
平成 8年 4月 1日	牛根分遣所長に関修三郎就任
平成10年 4月 1日	消防本部警防救急係長に重信正治就任 消防本部消防係長に中島勤就任 消防本部庶務係長に宮迫義秀就任
平成10年 5月 11日	救急救命士資格取得 1名 (才原一生)
平成10年11月 25日	救急救命士資格取得 1名 (後迫浩一郎) 消防職員 1名市長事務部局へ異動 第8代目消防長に富田武延就任
平成11年10月 1日	牛根分遣所長に瀧之上清孝就任 消防本部第1消防係長に小野貢就任 消防本部第1警防救急係長に関修三郎就任 消防本部第2消防係長に中島勤就任 消防本部第2警防救急係長に重信正治就任 消防職員 1名減 (計 41名)
平成11年11月 27日	富田武延消防長退職
平成12年 4月 1日	第9代目消防長に坂元清秀就任 消防本部次長兼署長に大迫徳雄就任 消防本部消防係長に小野貢就任 消防本部救急救助係長に関修三郎就任 消防本部警防係長に中島勤就任 消防本部庶務係長に重信正治就任 消防本部消防団係長に宮迫義秀就任
平成12年 4月 12日	救急救命士資格取得 1名 (田中昭弘)
平成12年11月 17日	救急救命士資格取得 1名 (迫田八州夕起)
平成13年 4月 1日	消防職員 1名市長事務部局へ異動、消防職員 3名採用
平成13年12月 14日	救急救命士資格取得 1名 (市来幸三)
平成14年 4月 1日	牛根分遣所長に小野貢就任 消防本部消防団係長に瀧之上清孝就任 消防本部警防係長に野元豊一就任 消防本部消防係長に宮迫義秀就任
平成14年 9月 1日	新消防庁舎 (消防本部、消防団) 落成移転 垂水市上町 1 1 2 番地 2
平成14年12月 31日	消防職員 1名退職 (計 40名)
平成15年 3月 31日	坂元清秀消防長退職 (計 39名)
平成15年 4月 1日	消防職員 2名採用 (計 41名)
平成15年 4月 1日	第10代目消防長に大迫徳雄就任

	消防本部次長兼署長に町田昭典就任 牛根分遣所長に関修三郎就任 消防本部消防係長に小野貢就任 消防本部予防係長に北迫和夫就任
平成15年 5月 8日	救急救命士資格取得1名(丸山悟)
平成15年 7月10日	消防職員1名減(計40名)
平成15年11月30日	消防職員1名退職(計39名)
平成16年 4月 1日	消防職員2名採用(計41名) 消防本部救急救助係長に松山晃就任
平成16年10月31日	消防職員1名退職(計40名)
平成17年 4月 1日	消防本部予防係長に久留周一就任
平成17年 4月30日	消防職員1名退職(計39名)
平成18年 3月31日	消防職員1名退職(計38名)
平成18年 4月 1日	消防職員2名採用(計40名) 分遣所長に野元豊一就任 消防団係長に永田稔就任
平成18年 7月 1日	課制施行 総務課(3係) 警防課(3係) 総務課長に重信正治就任 警防課長に関修三郎就任
平成19年 3月31日	大迫徳雄消防長退職(計39名)
平成19年 4月 1日	消防職員1名採用(計40名) 第11代消防長に町田昭典就任 消防本部次長兼署長に関修三郎就任 警防課長兼警防係長に宮迫義秀就任 総務課課長補佐兼消防係長に野元豊一就任 警防課課長補佐兼牛根分遣所長に松山晃就任 警防課救急救助係長に永田稔就任 総務課消防団係長に川原通就任 総務課庶務係長に寺田敏正就任
平成20年 4月 1日	緊急消防援助隊消防隊1隊登録 警防課長兼救急救助係長に宮迫義秀就任 総務課課長補佐兼消防団係長に野元豊一就任 警防課長補佐兼警防係長に松山晃就任 警防課長補佐兼牛根分遣所長に永田稔就任 総務課消防係長に川原通就任
平成21年 1月 1日	第12代消防長に関修三郎就任
平成21年 3月31日	消防職員2名退職(計38名)
平成21年 4月 1日	消防職員4名採用(計42名) 消防本部次長兼署長に宮迫義秀就任 総務課長に野元豊一就任 警防課長兼警防係長に松山晃就任 総務課長補佐兼庶務係長に寺田敏正就任 警防課長補佐兼予防係長に久留周一就任 総務課長補佐兼消防団係長に永田稔就任
平成21年 4月 1日	総務課消防係長に川原通就任 牛根分遣所長に二川茂也就任

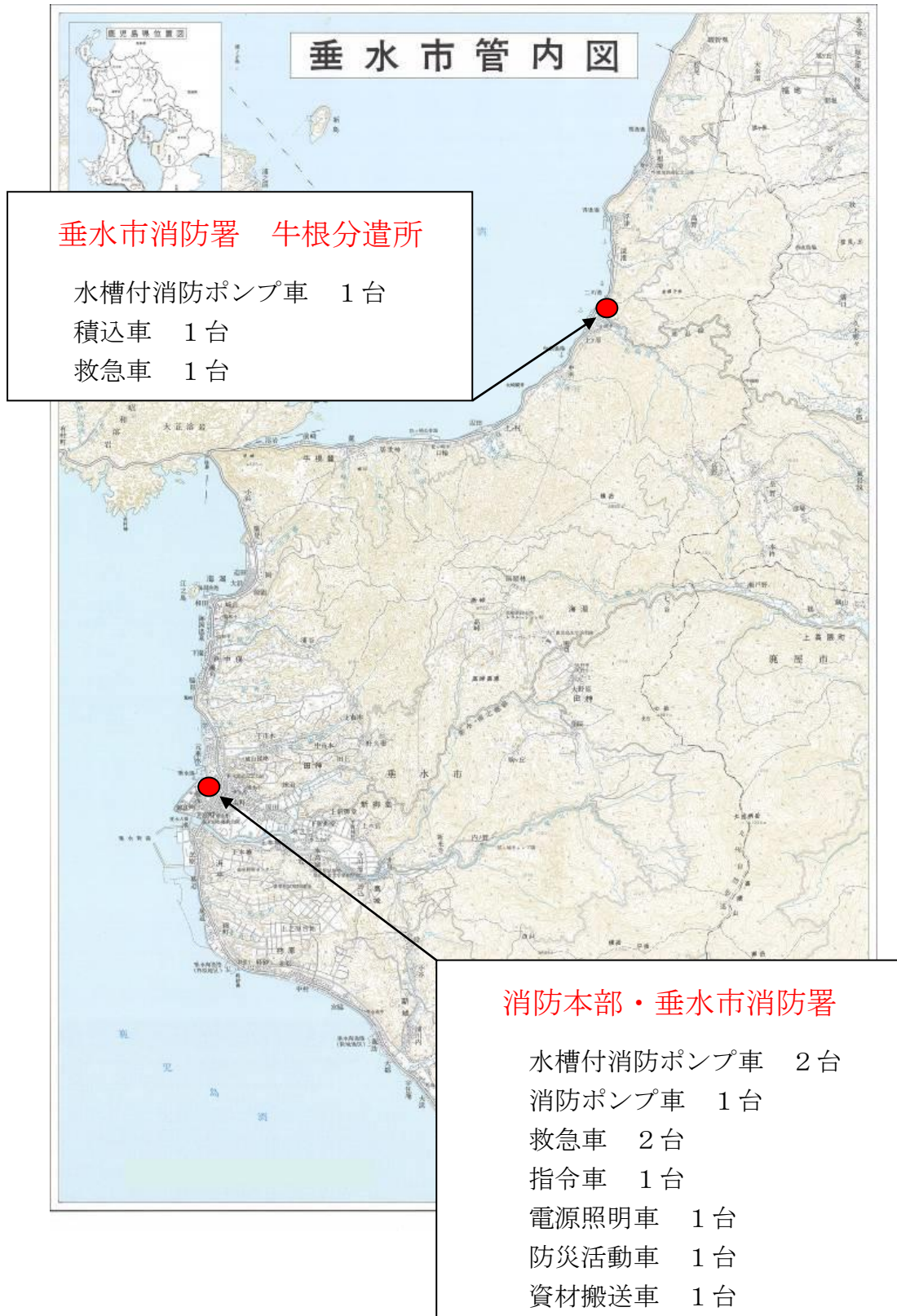
		警防課救急救助係長に迫田八州夕起就任
平成22年	1月 1日	第13代消防長に宮迫義秀就任
平成22年	3月31日	消防職員2名退職（計40名）
平成22年	4月 1日	消防職員2名（救急救命士有資格者1名含）採用（計42名）
		消防本部次長兼署長に野元豊一就任
		総務課長に松山晃就任
		警防課長に永田稔就任
		牛根分遣所長に寺田敏正就任
		総務課消防団係長に二川茂也就任
		警防課予防係長に平野照実就任
		警防課警防係長に迫田八州夕起就任
		警防課救急救助係長に後迫浩一郎就任
平成22年	5月 1日	消防職員2名（救急救命士有資格者1名含）採用（計44名）
平成22年	10月 1日	総務課消防団係長に葛迫英司就任
平成23年	3月31日	消防職員2名退職（計42名）
平成23年	3月11日	総務課消防団係長に葛迫英司就任
		東日本大震災に緊急消防援助隊 車両1台 隊員5名を派遣 （タンク2号車 永田・岩元・湊崎・迫田仁・港）
平成23年	4月 1日	消防職員2名採用（計44名）
		牛根分遣所長に迫田八州夕起就任
		警防課警防係長に才原一生就任
平成24年	3月31日	消防職員3名退職（計41名）
平成24年	4月 1日	消防職員3名採用（計44名）
		警防課長に迫田八州夕起就任
		総務課消防係長に田中昭弘就任
		牛根分遣所長に大坪広幸就任
平成25年	3月 6日	消防庁長官表彰旗授与
平成25年	3月31日	宮迫義秀消防長退職（計43名）
		消防職員1名退職（計42名）
平成25年	4月 1日	消防職員1名採用（計43名）
		第14代消防長に松山晃就任
		消防本部次長兼署長に迫田八州夕起就任
		総務課長兼庶務係長に後迫浩一郎就任
		警防課長に平野照実就任
		警防課長補佐兼牛根分遣所長に葛迫英司就任
		総務課長補佐兼消防係長に大坪広幸就任
		総務課長補佐兼消防団係長に才原一生就任
		警防課救急救助係長に田中昭弘就任
		警防課予防係長に市来幸三就任
		警防課警防係長に岩元昭一就任
平成25年	4月17日	救急救命士資格取得2名（港浩久・上野潤也）
平成25年	5月 1日	消防職員1名（救急救命士有資格者）採用（計44名）
平成25年	8月31日	消防職員1名退職（計43名）
平成26年	3月31日	松山晃消防長退職（計42名）
平成26年	3月31日	消防職員1名退職（計41名）
平成26年	4月 1日	消防職員3名（救急救命士有資格者1名含）採用（計44名）

平成26年 4月 1日	第15代消防長に迫田八州夕起就任 消防本部次長兼署長に後迫浩一郎就任 総務課長兼消防係長に才原一生就任 警防課長に大坪広幸就任 総務課長補佐兼消防団係長に葛迫英司就任 総務課庶務係長に坂元隆博就任 牛根分遣所長に内田勝英就任
平成26年 4月14日	救急救命士資格取得1名(宮迫満)
平成26年10月 1日	総務課消防係長に湊崎浩一就任
平成27年 3月31日	迫田八州夕起消防長退職(計43名)
平成27年 3月31日	消防職員1名退職(計42名)
平成27年 4月 1日	消防職員1名採用(計43名) 第16代消防長に前木場強也就任(市長事務部局より異動)(計44名) 総務課長兼消防団係長に才原一生就任
平成27年 4月10日	救急救命士資格取得1名(福重俊)
平成27年10月 1日	総務課消防団係長に柰田稔就任
平成28年 3月31日	前木場強也消防長退職(計43名)
平成28年 4月 1日	第17代消防長に後迫浩一郎就任 消防本部次長兼署長に才原一生就任 牛根分遣所長に湊崎浩一就任 総務課消防係長に内田勝英就任
平成28年 6月 1日	救急救命士資格取得1名(前原悠)
平成29年 4月 1日	総務課長に大坪広幸就任 警防課長兼救急係長に田中昭弘就任 警防課長補佐兼予防係長に市来幸三就任
平成29年 4月12日	救急救命士資格取得1名(外村敬彦)
平成29年 6月30日	消防職員1名退職(計42名)
平成30年 4月 1日	消防職員1名採用(計43名) 総務課庶務係長に岩元昭一就任 警防課警防係長に内田勝英就任 総務課消防係長に坂元隆博就任 警防課救急係長に丸山悟就任
平成31年 4月 1日	消防職員1名採用(計44名) 総務課消防団係長に湊崎浩一就任 牛根分遣所長に柰田稔就任
平成31年 4月15日	救急救命士資格取得1名(園田幸平)
令和 元年 8月26日	指導救命士資格取得1名(港浩久)
令和 元年12月31日	消防職員1名退職(計43名)
令和 2年 4月 1日	総務課長補佐に岩元昭一就任 庶務係長に脇秀樹就任(市長事務部局より異動)(計44名)
令和 2年 4月13日	救急救命士資格取得1名(内村雄太)
令和 3年 1月31日	消防職員1名退職(43名)
令和 3年 3月31日	消防職員1名退職(42名)
令和 3年 4月 1日	消防職員2名採用(44名) 総務課長に田中昭弘就任 警防課長に市来幸三就任

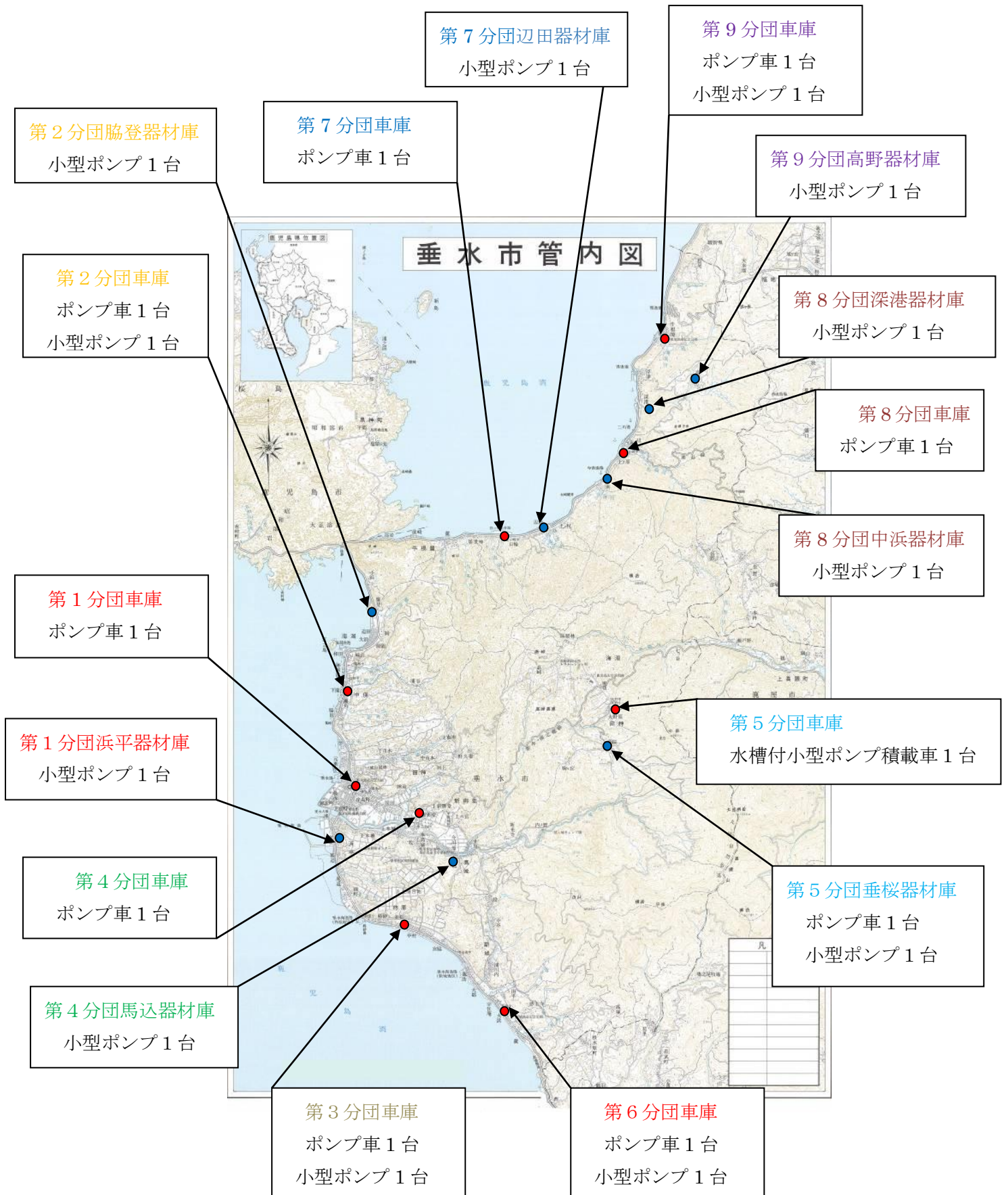
令和 3年 4月 1日	警防課長補佐兼予防係長に岩元昭一就任 総務課消防係長に杵田稔就任 牛根分遣所長に坂元隆博就任
令和 3年 4月 19日	救急救命士資格取得1名（永野孝一）
令和 4年 3月 31日	消防職員2名退職（計42名）
令和 4年 4月 1日	消防職員1名市長事務局へ移動（計41名） 消防職員3名採用（計44名） 消防本部次長兼署長に田中昭弘就任 総務課長に市来幸三就任 警防課長に岩元昭一就任 警防課主幹兼予防係長に内田勝英就任 総務課主幹兼庶務係長に湊崎浩一就任 警防課警防係長に下瀬智寛就任 総務課消防団係長に西原隆明就任 総務課消防係長に厚地政寛就任

8 分布図

垂水市消防本部分布図



垂水市消防団分布図



9 平面図

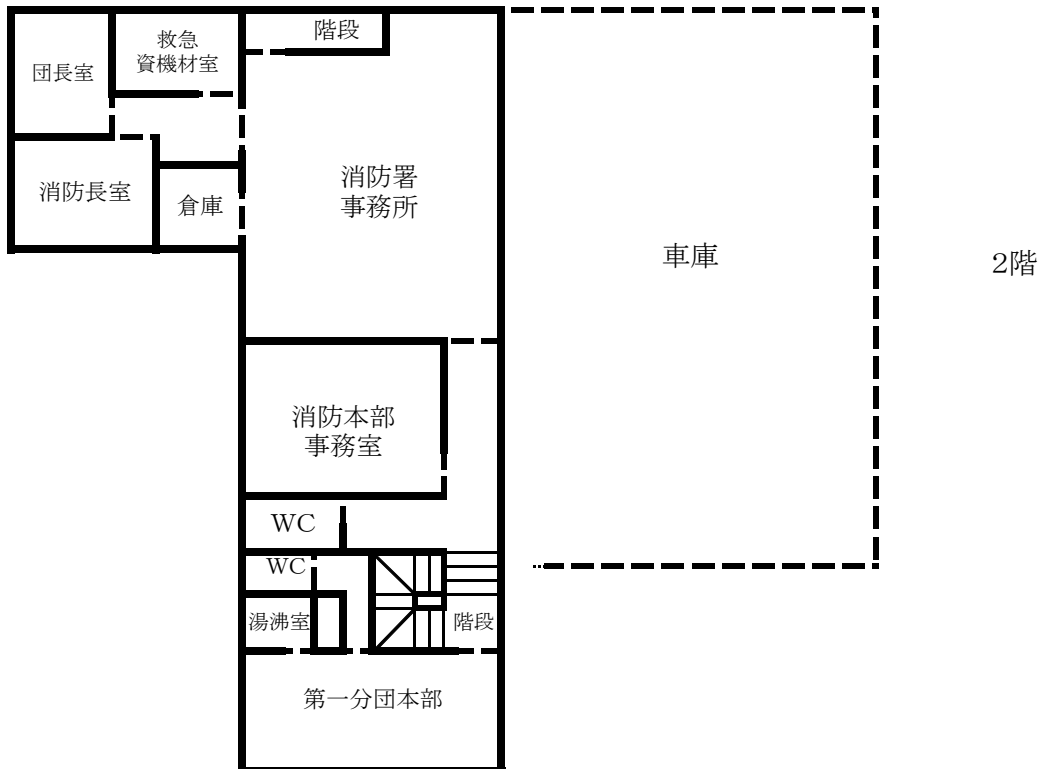
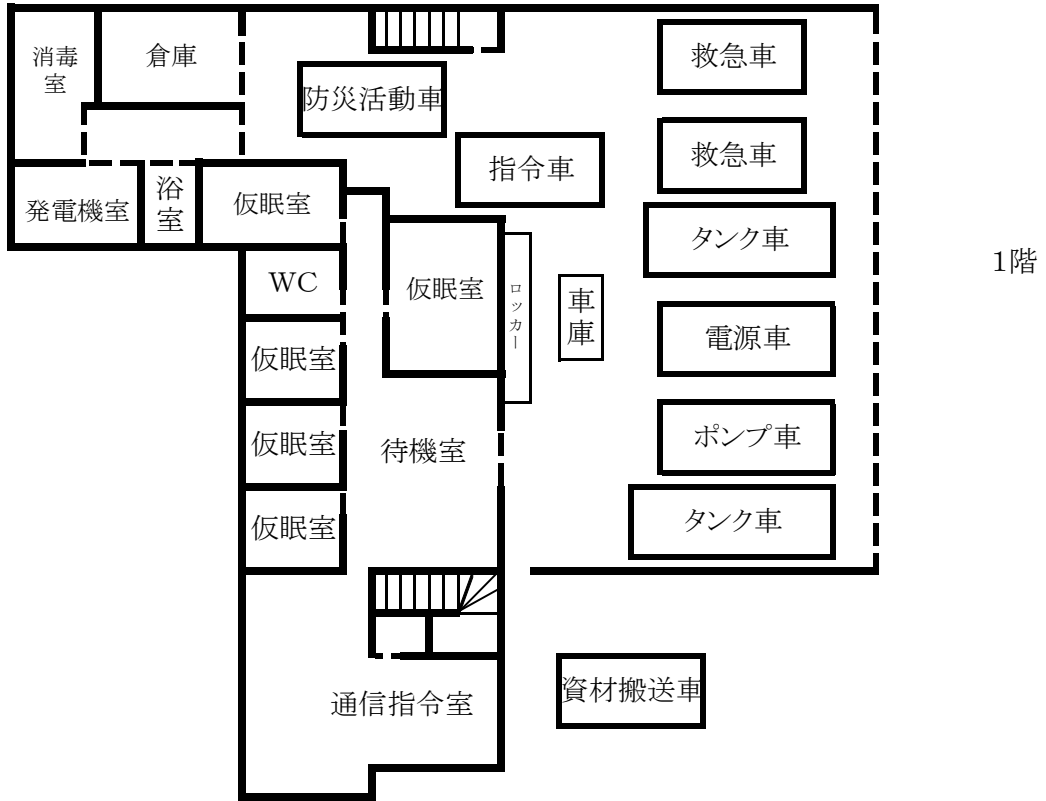
(1) 消防本部・消防署平面図

敷地面積 834.47㎡

建築延面積 830.33㎡ (鉄骨コンクリートブロック造
亜鉛メッキ鋼板・スレート葺2階建)

1階 508.99㎡

2階 321.34㎡



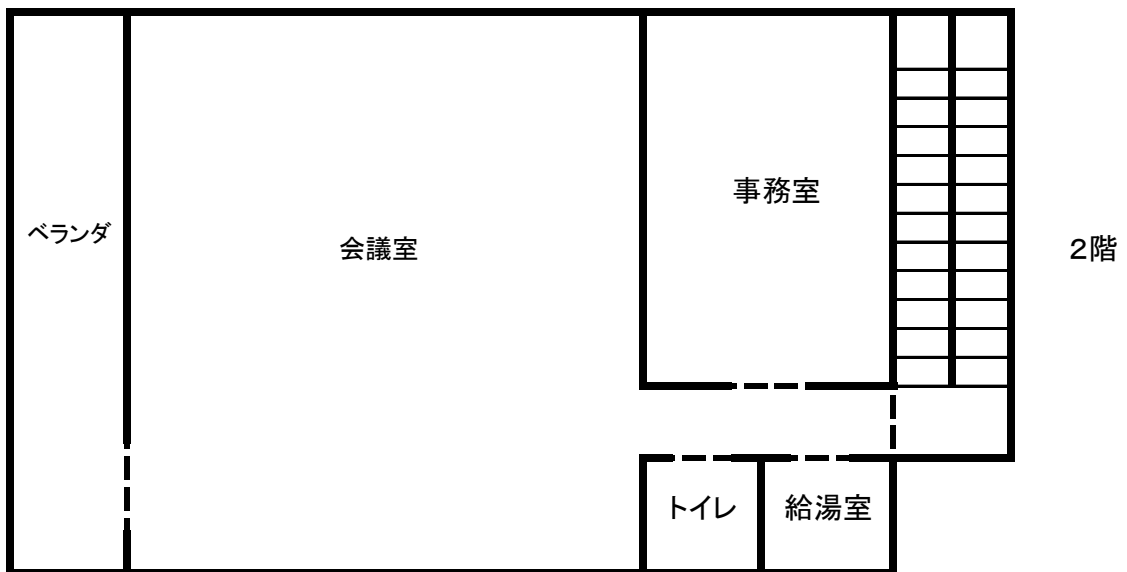
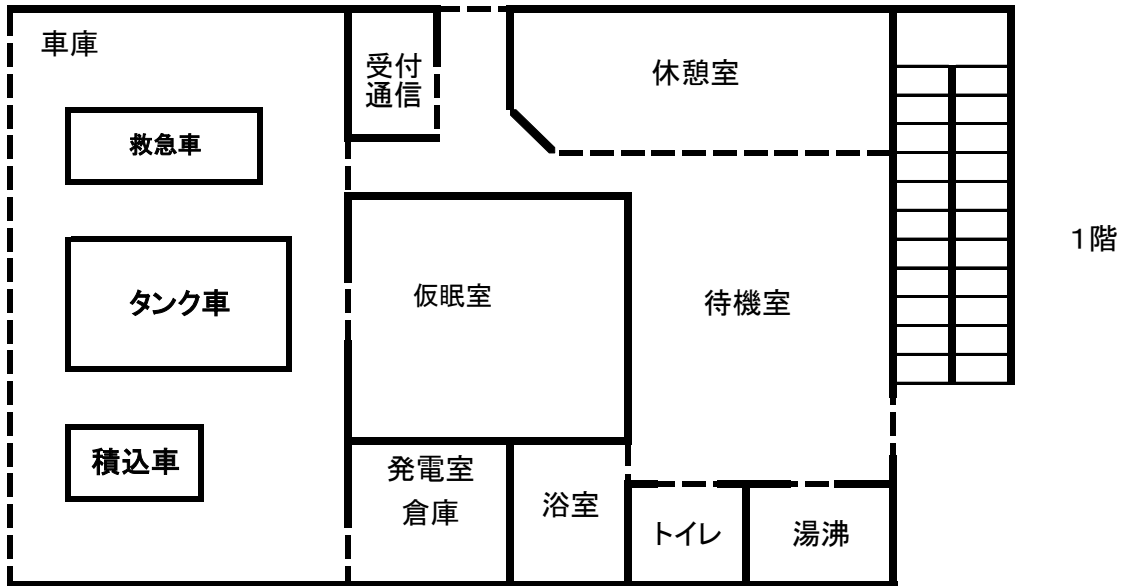
(2) 牛根分遣所平面図

敷地面積 777.71㎡

建築延面積 320.0㎡

1階 159.0㎡

2階 161.0㎡



10 消防本部(署)の市町村相互応援協定

(1) 消防・救急業務相互応援協定	鹿児島市	昭和 50 年 3 月 10 日
		(覚書) 平成 18 年 8 月 1 日
	〃 鹿屋市	昭和 50 年 5 月 1 日
	〃 大隅肝属地区消防組合	昭和 52 年 4 月 1 日
	〃 大隅曾於地区消防組合	昭和 57 年 4 月 1 日
	(再締結) 平成 29 年 4 月 24 日	
〃 霧島市消防局	平成 17 年 8 月 1 日	
(2) 鹿児島県消防・防災ヘリコプター 応援協定	鹿児島県	平成 10 年 6 月 26 日
(3) 救急救命士の救急救命処置に伴 う協定	垂水市医療センター 垂水中央病院	平成 15 年 11 月 27 日
(4) 医師の指示及び事後検証に関す る覚書	垂水市医療センター 垂水中央病院	平成 16 年 2 月 23 日
(5) 消防相互応援協定	霧島市	平成 17 年 12 月 1 日
(6) 鹿児島県ドクターヘリ運航事業に おける救急車搬送に関する相互 応援協定	鹿児島県	平成 23 年 12 月 22 日
(7) 救急隊に対する指示及び指導・ 助言に関する協定	垂水市医療センター 垂水中央病院	平成 29 年 4 月 17 日
(8) 救急隊に対する指示及び指導・ 助言並びに事後検証に関する協 定	大隅鹿屋病院、鹿屋医 療センター	平成 30 年 3 月 5 日
	〃 医療法人青仁会池田病 院	令和 2 年 1 月 17 日

10 消防本部(署)の市町村相互応援協定

- | | | |
|-------------------------|--------------------|-------------------|
| (9)鹿児島県内消防相互応援協定 | 県内消防本部、
三島村、十島村 | 平成 30 年 12 月 25 日 |
| (10)ドクターカー運用に関する協定
書 | 医療法人青仁会池田病
院 | 令和 3 年 10 月 1 日 |

11 消防団の市町村相互応援協定

- | | | |
|-------------|-----|----------------|
| (1)消防相互応援協定 | 鹿屋市 | 平成 4 年 4 月 1 日 |
|-------------|-----|----------------|

組 織



1 組織

(令和4年4月1日現在)

階 級 配 置		消 防 吏 員						計
		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	
消 防 本 部	消 防 長	1						1
	次 長		1					1
	総 務 課 長		1					1
	警 防 課 長		1					1
	総 務 課 主 幹			(1)				
	警 防 課 主 幹			(1)				
	庶 務 係			1		(3)	(2)	1
	消 防 団 係			(1)	(1)	(3)		
	予 防 係			1	(4)	(2)	(1)	1
	消 防 係			(2)	(1)	(2)		
	警 防 係			(1)	(2)	(2)	(1)	
	救 急 係			(1)	(4)	(2)		
小 計	1	3	2 (7)	(1 2)	(1 4)	(4)	6	
署	署 長		(1)					
	次 席							
	分隊長・分遣所長			3				3
	隊 員 ・ 班 員			4	1 3	1 3	5	3 5
	小 計		(1)	7	1 3	1 3	5	3 8
合 計		1	3 (1)	9 (7)	1 3 (1 2)	1 3 (1 4)	5 (4)	4 4

() は兼務者

2 事務分掌

(1) 総務課 庶務係

- 1 消防行政運営の総合調整に関する企画及び立案に関すること。
- 2 消防予算の編成と執行に関すること。
- 3 消防本部及び消防署の組織に関すること。
- 4 消防職員の人事に関すること。
- 5 消防職員及び消防団員等の公務災害に関すること。
- 6 消防職員の福利厚生及び保健に関すること。
- 7 消防本部の文書管理及び公印の保管に関すること。
- 8 消防本部の情報公開及び個人情報保護に関すること。
- 9 消防職員の教養・研修に関すること。
- 10 消防本部及び消防団の会議及び儀式に関すること。
- 11 行政財産の営繕管理に関すること。
- 12 消防職員の被服及び貸与品に関すること。
- 13 消防職員委員会に関すること。
- 14 消防職員の賞罰に関すること。
- 15 例規の整備に関すること。
- 16 消防年報及び消防統計に関すること。

- 17 消防関係外部団体・外部機関との連絡調整に関する事。
- 18 他に係に属しないもの。

(2) 総務課 消防団係

- 1 消防団員の人事に関する事。
- 2 消防団員の賞罰に関する事。
- 3 消防団員の被服及び貸与品に関する事。
- 4 消防団員名簿の管理に関する事。
- 5 消防団員の教養・訓練に関する事。
- 6 消防団員の出場者命令書に関する事。
- 7 消防団員の福利厚生及び保健に関する事。
- 8 消防団員の運営、企画及び立案に関する事。
- 9 他に係に属しない消防団に関する事。

(3) 総務課 消防係

- 1 消防水利及び地理に関する事。
- 2 消防用車両及び資機材の整備点検及び維持管理に関する事。
- 3 消防用車両及び資機材の燃料管理に関する事。
- 4 消防用車両及び資機材の研究、改善及び仕様に関する事。
- 5 消防施設、備品及び庁舎等の管理に関する事。
- 6 その他消防施設及び資機材に関する事。

(4) 警防課 警防係

- 1 消防計画及び消防防災に関する事。
- 2 火災その他の災害の警戒防ぎよに関する事。
- 3 救助業務に関する事。
- 4 災害活動の非常召集に関する事。
- 5 消防職員の訓練に関する事。
- 6 火災警報及び特別警戒に関する事。
- 7 消防応援・授援に関する事。
- 8 消防通信・指令業務に関する事。
- 9 消防気象業務に関する事。
- 10 自主防災組織の指導・育成に関する事。
- 11 警防広報に関する事。
- 12 その他警防業務に関する事。

(5) 警防課 予防係

- 1 火災予防の企画に関する事。
- 2 火災予防査察に関する事。
- 3 消防建築同意に関する事。
- 4 防火管理者の育成・指導に関する事。
- 5 火災予防条例に基づく火災予防指導に関する事。
- 6 消防危険物施設等の許認可、承認及び液化石油ガスの意見書並びに火薬類煙火の消費許可に関する事。
- 7 火災原因及び損害の調査に関する事。
- 8 火災の罹災証明に関する事。
- 9 防火協力団体に関する事。
- 10 防火思想の啓蒙及び広報に関する事。

- 11 その他火災予防に関する事。

(6) 警 防 課 救 急 係

- 1 救急業務の統計及び報告に関する事。
- 2 救急用資機材等の維持管理に関する事。
- 3 救急業務に必要な外部機関との連絡・調整に関する事。
- 4 救急応急手当の普及啓発活動の推進に関する事。
- 5 その他救急業務に関する事。

(7) 消 防 署

消防署における事務は、消防本部各係りの補充事務を処理するとともに、次の事務を分掌する。

- 1 通信受付事務に関する事。
- 2 防火広報及び予防、警防査察の実施に関する事。
- 3 消防情報及び消防相談に関する事。
- 4 火災その他の災害の警戒防ぎよに関する事。
- 5 署員、団員の教養訓練に関する事。
- 6 自衛消防隊の訓練指導に関する事。
- 7 消防水利の維持点検に関する事。
- 8 消防地理の実情把握に関する事。
- 9 消防機械器具の運用と維持点検に関する事。
- 10 消防通信機器の運用と維持点検に関する事。
- 11 救急業務及び救急用資機材の維持点検に関する事。
- 12 消防気象情報の受理、伝達に関する事。
- 13 その他、消防業務の実働に関する事。

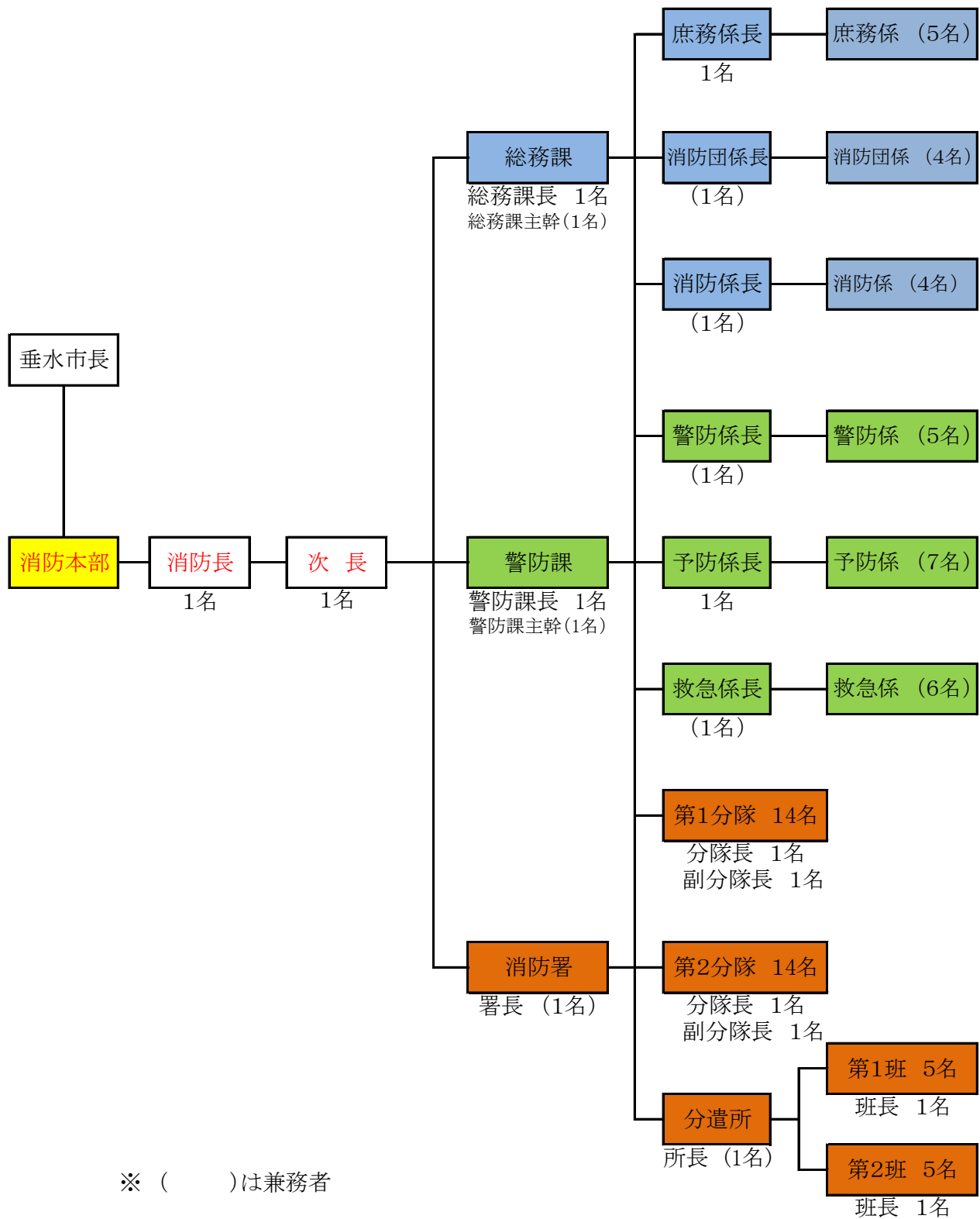
(8) 分 遣 所

分遣所における事務は、本署の補充事務とし、次に掲げる事務を行う。

- 1 通信、受付事務に関する事。
- 2 火災予防査察に関する事。
- 3 消防危険物関係の指導取締りに関する事。
- 4 火災、その他の火災の警戒、防ぎよに関する事。
- 5 消防水利及び地理に関する事。
- 6 署員、団員の教養訓練に関する事。
- 7 消防機械器具の整備保存に関する事。
- 8 救急業務及び救急用資機材の維持点検に関する事。
- 9 火災、その他の火災の情報収集伝達に関する事。
- 10 消防気象情報の収集伝達に関する事。
- 11 その他、区域内の消防業務に関する事。

3 垂水市消防本部組織図(令和4年4月1日)

職員数 44名



4 歴代消防長

(令和4年4月1日現在)

代	氏 名	期 間		備 考
		自	至	
1	町 田 四 朗	昭和44年4月1日	昭和47年11月30日	垂水市長(兼務)
2	枝 本 豊 助	昭和50年1月28日	昭和56年6月30日	垂水市長(兼務)
3	倉 岡 弘 人	昭和56年7月1日	昭和58年3月31日	
4	高 田 士 朗	昭和58年4月1日	昭和62年3月31日	
5	宮 迫 豊 治	昭和62年4月1日	平成3年3月31日	
6	立 山 次 雄	平成3年4月1日	平成7年3月31日	
7	川 井 田 洸	平成7年4月1日	平成11年3月31日	
8	冨 田 武 延	平成11年4月1日	平成12年3月31日	
9	坂 元 清 秀	平成12年4月1日	平成15年3月31日	
10	大 迫 徳 雄	平成15年4月1日	平成19年3月31日	
11	町 田 昭 典	平成19年4月1日	平成20年12月31日	
12	関 修 三 郎	平成21年1月1日	平成21年12月31日	
13	宮 迫 義 秀	平成22年1月1日	平成25年3月31日	
14	松 山 晃	平成25年4月1日	平成26年3月31日	
15	迫田八州夕起	平成26年4月1日	平成27年3月31日	
16	前木場強也	平成27年4月1日	平成28年3月31日	
17	後迫浩一郎	平成28年4月1日	在 任 中	

5 消防職員の階級別年齢

(令和4年4月1日現在)

階級 年齢	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
18～25歳						5	5
26～30歳					1		1
31～35歳				1	12		13
36～40歳				8			8
41～45歳				4			4
46～50歳			7				7
50歳以上	1	3	2				6
計	1	3	9	13	13	5	44

6 消防職員の在職年数調べ

(令和4年4月1日現在)

階級 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
0～5年						5	5
6～10年					7		7
11～15年				4	6		10
16～20年				6			6
20年以上	1	3	9	3			16
計	1	3	9	13	13	3	44

7 消防力の基準と現有

(令和4年4月1日現在)

種別	署所	消防ポンプ数	救急車数	非常用 消防ポンプ数	非常用 救急車数
基準	2	3	2	0	0
現有	2	3	2	1	1

8 消防職員教養状況

(令和4年4月1日現在)

種別 年度	消防 大学 校	救急救命 研修所			実務研修			県 消 防 学 校													計		
		東 京	九 州	養成 指導 救命 研修 士	警 防	救 急	予 防	初 任 科	救 急 員 科	審 査 員 研 修	無 線 科	初 級 幹 部 科	中 級 幹 部 科	予 防 科	予 防 査 察 科	火 災 調 査 科	救 助 科	救 急 科	救 急 標 準 課 程	救 急 Ⅱ 課 程			
2											2	2		2			2						8
3	1							1	1		2			2			2				2		11
4	1							2	2												2		7
5								1	1													4	6
6								3	3					2							3		11
7								3	3												4		10
8																					4		4
9			1							6				2			1		1	2			13
10			1													1			1	2			5
11			1													1			1	2			5
12			1													1			1	2			5
13			1								1		1			1				2			6
14			1					3		2	1									1			8
15											1									2			3
16								2															2
17								2												2			4
18								1												2			3
19								1												1			2
20								1		4										2			7
21								4		4										2			10
22								4								1				2			7
23								2							1		1	2					6
24		1	1					3		4										2			11
25			1					2												3			6
26		1						3		4										2			10
27			1					1							1		1	2					6
28			1		1					2					1	1	1						7
29						1									1	1	2						5
30			1				1	1		4										1			8
元			1	1	1										1		1						5
2			1					1				1				1	1	1					6
3			1					2		3					1		1						
計	2	2	14	1	2	1	1	41	10	30	7	3	1	8	6	8	13	24	9	27			

9 消防決算

(1) 消防費歳出比較

款	消 防 費	項	消 防 費	(単位:円)	
目	節		元年度決算	R2年度決算	増 減
1	常備消防費		364,413,159	430,816,280	66,403,121
	2	給料	150,434,400	155,954,400	5,520,000
	3	職員手当等	111,723,797	112,720,935	997,138
	4	共済費	54,578,652	57,444,376	2,865,724
	8	報償費	32,400	30,000	△ 2,400
	9	旅費	899,430	897,170	△ 2,260
	11	需用費	11,193,422	12,289,923	1,096,501
	12	役務費	5,230,904	4,738,202	△ 492,702
	13	委託料	22,141,615	79,277,880	57,136,265
	14	使用料及び賃借料	1,922,788	1,953,117	30,329
	18	備品購入費	2,977,435	2,910,112	△ 67,323
	19	負担金補助及び交付金	2,933,916	2,444,965	△ 488,951
	27	公課費	344,400	155,200	△ 189,200
2	非常備消防費		30,215,544	29,433,580	△ 781,964
	1	報酬	11,870,320	11,647,270	△ 223,050
	8	報償費	164,080	133,300	△ 30,780
	9	旅費	6,610,350	4,641,420	△ 1,968,930
	11	需用費	2,461,039	1,247,250	△ 1,213,789
	12	役務費	205,148	243,840	38,692
	13	委託料	125,773	168,720	42,947
	18	備品購入費	1,557,014	3,807,760	2,250,746
	19	負担金補助及び交付金	7,156,220	7,157,420	1,200
	27	公課費	65,600	386,600	321,000
3	消防施設費		47,566,084	23,449,795	△ 24,116,289
	11	需用費	869,191	1,049,030	179,839
	12	役務費	30,000	0	△ 30,000
	13	委託料	4,276,700	0	△ 4,276,700
	15	工事請負費	38,938,200	2,000,000	△ 36,938,200
	16	原材料費	198,909	83,587	△ 115,322
	18	備品購入費	1,253,084	17,904,678	16,651,594
	19	負担金補助及び交付金	2,000,000	2,000,000	0
		消防防災等施設整備事業費	0	0	0
	15	工事請負費	0	0	0
	18	備品購入費	0	0	0
		石油貯蔵施設立地対策等交付金事業	412,500	412,500	0
	18	備品購入費	412,500	412,500	0

(2) 一般会計と消防費決算の割合

(単位:円) 消防費は全体額

区 分年度	一般会計	消防費	消防費に係る(C)	割合 %		消防費の前年度比較	
	決算額(A)	決算額(B)	基準財政需要額	B/A	B/C	増減	比較
平成8年度	10,915,985,684	408,173,505	315,258,000	3.74%	129.47%	6,127,924	101.52%
平成9年度	11,205,193,492	447,164,524	322,634,000	3.99%	138.60%	38,991,019	109.55%
平成10年度	10,648,410,489	420,248,319	307,455,000	3.95%	136.69%	-26,916,205	93.98%
平成11年度	11,542,959,328	421,089,282	310,349,000	3.65%	135.68%	840,963	100.20%
平成12年度	10,500,257,404	422,097,133	311,451,000	4.02%	135.53%	1,007,851	100.24%
平成13年度	10,256,632,303	510,383,516	304,426,000	4.98%	167.65%	88,286,383	120.92%
平成14年度	10,216,934,124	471,176,064	306,835,000	4.61%	153.56%	-39,207,452	92.32%
平成15年度	9,263,396,031	408,382,991	302,235,000	4.41%	135.12%	-62,793,073	86.67%
平成16年度	9,798,015,877	376,205,050	296,201,000	3.84%	127.01%	-32,177,941	92.12%
平成17年度	8,958,578,672	356,759,112	295,110,000	3.98%	120.89%	-19,445,938	94.83%
平成18年度	9,493,760,126	392,336,149	275,642,000	4.13%	142.34%	35,577,037	109.97%
平成19年度	8,139,470,279	377,343,312	273,034,000	4.64%	138.20%	-14,992,837	96.18%
平成20年度	8,485,642,911	379,360,034	276,681,000	4.47%	137.10%	2,016,722	100.53%
平成21年度	9,801,795,723	402,610,234	290,246,000	4.21%	138.71%	23,250,200	106.13%
平成22年度	9,403,671,566	415,981,674	309,863,000	4.21%	127.64%	-13,371,440	103.32%
平成23年度	9,557,006,057	418,578,094	287,157,000	4.38%	145.77%	2,596,420	100.62%
平成24年度	9,171,290,234	402,634,678	289,630,000	4.39%	139.02%	-15,943,416	96.19%
平成25年度	10,075,686,417	409,543,107	280,163,000	4.06%	146.18%	6,908,429	101.72%
平成26年度	10,452,396,676	1,039,188,059	293,821,000	9.94%	353.68%	629,644,952	253.74%
平成27年度	10,579,873,294	514,515,675	298,196,000	4.86%	172.54%	-524,672,384	49.51%
平成28年度	11,570,087,775	438,401,769	278,048,000	3.79%	157.67%	-76,113,906	85.21%
平成29年度	13,537,692,686	483,282,088	277,969,000	3.57%	173.86%	44,880,319	110.24%
平成30年度	11,617,421,293	439,895,625	278,500,000	3.79%	157.95%	-43,386,463	91.02%
令和元年度	13,161,064,775	461,605,611	277,268,000	3.51%	166.48%	21,709,986	104.94%
令和2年度	14,292,434,812	519,802,215	279,722,000	3.64%	185.83%	58,196,604	112.61%

※割合及び消防費の前年度比較は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までを表示している。

消防資機材



1 垂水市消防機器配置状況

(1) 消防本部

昭和44年 4月 1日	救急車購入、配置 (トヨタMS、56VS型B級)
昭和44年 9月27日	消防専用無線電話装置設置 (基地局1、移動局2) 超短波149.73MHZ F3 (JRC10w) 発電機1.2kw (100V・12V)
昭和45年 2月15日	消防本部・署庁舎新築 (鉄筋コンクリート3階建)
昭和45年 3月 9日	気象観測機器購入設置 (1) 自記プロペラ型風向風速計 (2) 自記雨量計 (3) 自記湿度計
昭和45年 3月11日	水槽付消防ポンプ車購入配置 (いすゞTXG20、2.5t積)
昭和46年 4月 1日	救急車サイレンをピーポーに切り替え
昭和46年 7月15日	気象観測機器、自記気圧計購入設置
昭和46年 7月21日	仮眠室冷房装置取付 (日立)
昭和46年10月 7日	消防無線電話装置増設、無線移動局 (しょうぼうたるみず3) 設置
昭和46年10月 7日	消防ポンプ自動車購入 (ニッサンパトロールFH60)
昭和47年 2月23日	消防無線電話装置に県共通波挿入148.21MHZ、F3 (10w) 基地局1・移動局3 (しょうぼうたるみず1~3)
昭和47年 3月 6日	救急車に進入破壊器具弁慶購入積載
昭和47年 5月31日	新日本消防機器よりレンジャー用品一式購入
昭和47年 6月20日	武田ポンプよりエンジンカッター購入
昭和47年12月 2日	森田ポンプより現場外套7着購入
昭和48年 4月 2日	軽車付消防車 (火災保険号) 寄贈配置
昭和48年 9月18日	全国農協共済よりニッサンフォーミー救急車寄贈配置
昭和49年 2月12日	消防専用無線電話装置配置(移動局1)並びに周波数変更 (149.71MHZ, F3E10w)
昭和49年 2月13日	第8分団消防ポンプ自動車へ本部無線設備移動局(しょうぼうたるみず2)を移動設置
昭和49年 2月15日	消防専用無線電話装置 (移動局) 二局取付 現有数 基地局 1 移動局 6 (1基は第8分団消防車へ積載)
昭和49年 3月19日	森田ポンプより防熱衣10(第8,小2)及びヘルメット (タレ付) 10購入
昭和49年11月19日	火災原因調査器具一式購入
昭和50年 7月25日	投光機器等 (含発電機) 購入
昭和50年 9月10日	消防専用携帯無線電話機1局購入 (しょうぼうたるみず11)
昭和50年11月21日	マジックギブスセット・血圧計購入
昭和51年 1月31日	消防専用携帯無線電話機1局購入 (しょうぼうたるみず12)
昭和51年 8月11日	レンジャー服一式購入
昭和51年 9月10日	消防専用携帯無線電話機1局購入 (しょうぼうたるみず13)
昭和51年10月 8日	水槽付消防ポンプ車購入 (日野KR321、2.5t積載)
昭和51年10月15日	消防専用無線電話装置設置場所変更 (第8分団車から分遣所配置予定の水槽付消防ポンプ自動車へ)
昭和51年10月18日	牛根分遣所に消防用無線電話装置設置 (基地局、固定局1) しょうぼううしね 超短波 149.71MHZ F3 10w 148.21MHZ F3 10w
昭和51年10月30日	空気呼吸器一式購入 N6S8型 3台
昭和51年11月10日	通信室用ユーダイヤル購入 30回線挿入

昭和52年	3月31日	発電機購入 2KVA (100V・12V) 分遣所設置	
昭和52年	3月31日	分遣所気象観測機器購入	
		(1) 自記プロペラ型風向風速計	(2) 自記雨量計
		(3) 自記湿度計	(4) 自記温度計
昭和52年	9月5日	自動サイレン吹鳴装置2台購入	本署・分遣所設置
昭和52年	9月30日	消防専用携帯無線電話2台購入 (しょうぼうたるみず14)	
		(しょうぼうたるみず15)	
昭和52年	12月3日	消火器ABC50型2本、ABC20型2本購入	岳野へ配置
昭和53年	2月7日	ガレージジャッキ購入10t	分遣所へ配置
昭和53年	2月21日	空気呼吸器一式購入N6S8型2台 エンジンカッター購入	分遣所へ配置
昭和53年	3月22日	救急自動車購入 (ニッサンキャラバン2000CC2B型)	分遣所へ配置
昭和53年	3月27日	山林火災用チェンソー2台購入	本署・分遣所へ配置
昭和53年	3月27日	双眼鏡2台購入	本署・分遣所へ配置
昭和53年	3月27日	火災現場用カメラ購入	
昭和53年	3月28日	コンプレッサー一式購入 (東芝圧力一馬力)	本署へ配置
昭和53年	3月28日	充電機購入 (MX-55)	本署へ配置
昭和53年	3月29日	分遣所通信室用ユーダイヤル購入30回線挿入	
昭和53年	3月29日	気象観測自記温度計購入	本署へ配置
昭和53年	6月21日	消防用救助マット 1台購入	本署へ配置
昭和53年	6月27日	人工呼吸器 1台購入	本署へ配置
昭和53年	8月21日	消防専用無線電話設置 (移動局) 1基取付	分遣所へ配置
		(きゅうきゅうたるみず2)	
昭和53年	9月11日	小型動力ポンプ積込式軽自動車三菱5501台購入	分遣所へ配置
昭和53年	11月30日	本署浴室ボイラー一式設置	
昭和53年	11月30日	ピットゲージ2個購入	本署へ配置
		弁慶 2個購入	本署・分遣所へ配置
昭和53年	12月25日	プルスモニター 1基購入	本署へ配置
昭和54年	2月28日	可燃性ガス検知器 1基購入	本署へ配置
昭和54年	3月10日	ロータリーノズル及び分水器一式購入	本署へ配置
昭和54年	3月15日	酸素発生閉鎖循環式呼吸器 2セット購入	本署へ配置
昭和54年	3月31日	消防専用携帯無線電話機 2台購入	本署へ配置
		(しょうぼうたるみず16)	
		(しょうぼうたるみず17)	
昭和54年	11月10日	消防専用無線電話機 (移動局) 3基購入	
		積込車 (しょうぼううしね2)	分遣所へ配置
		救急車3B型 (きゅうきゅうたるみず2)	本署へ配置
		指令車 (しょうぼうたるみず5)	本署へ配置
昭和54年	11月23日	指令車購入 (ニッサングロリア2000CC)	本署へ配置
昭和54年	11月30日	火災現場用消防長靴 10足購入 (内3足は分遣所)	
昭和55年	3月24日	指令車用パイプ車庫一式購入	本署へ配置
昭和55年	3月31日	損害保険協会より日産シビリアン救急車3B型寄贈	本署へ配置
昭和56年	1月19日	救助幕購入	本署へ配置
昭和56年	1月19日	空気呼吸器一式 1台購入	本署へ配置
昭和56年	1月20日	レンジャー服一式購入	本署へ配置
昭和56年	1月29日	救急用舌圧子電灯購入	本署へ配置
昭和56年	3月31日	鋼管製3連伸縮梯子購入	本署へ配置

昭和56年	8月17日	消防専用携帯無線電話1台購入 (しょうぼうたるみず14)	本署へ配置
昭和57年	3月10日	消防専用携帯無線電話1台購入 (しょうぼううしね13)	分遣所へ配置
昭和57年	2月19日	発電機 (E800) 1台・投光器 (300w) 2台購入	本署へ配置
昭和57年	3月31日	3点セット (ピットゲージ・圧縮計・真空計) 購入	本署へ配置
昭和57年	3月31日	救急用レサシバッグ購入	分遣所へ配置
昭和57年	3月31日	ホース修理用リベット購入	本署・分遣所へ配置
昭和57年	6月30日	本署仮眠室にルームエアコン (サンヨーSAPKY4514) 購入	本署へ配置
昭和58年	3月15日	昭和50年7月25日本署購入の発電機一式	分遣所へ移設置
昭和58年	3月28日	自動録音電話装置購入	本署へ配置
昭和58年	11月9日	レコーディングレサシアン購入	
昭和58年	11月23日	日本防火協会より広報車寄贈	本署へ配置
昭和58年	12月10日	レンジャー用ヘルメット (O型) 36個購入	
昭和59年	3月16日	工具セット (SK330) 購入	
昭和59年	11月30日	水槽付消防ポンプ自動車 (日野P-GD172BA・2.5t積・3tウインチ付)	本署へ配置
昭和59年	11月30日	消防専用無線電話車載携帯無線機1台購入 (しょうぼうたるみず6) 発電機 (ホンダ400) 1台・投光器1台 空気呼吸器 (ライフゼム8型) 一式4台購入	本署タンク車へ積載
昭和60年	1月14日	昭和45年3月11日購入の水槽付消防ポンプ車 (いすゞYXG20) 老朽のため廃車	
昭和60年	2月23日	自動録音電話装置購入	分遣所へ配置
昭和60年	3月14日	損害保険協会より日産キャラバン救急車2B型寄贈	本署へ配置
昭和60年	3月15日	昭和48年9月18日全国農協共済より寄贈の日産ホーミー救急車老朽のため廃車	
昭和60年	11月15日	救助工具 ハイジャッキ一式・エアークッター一式・SOSツール一式 ファイヤーレンジャー2組購入	本署へ配置
昭和60年	11月30日	消防用無線電話購入 (基地局) (しょうぼうたるみず)	本署へ配置
昭和61年	3月25日	水槽付・親子ポンプ装置付消防ポンプ車購入 (日野P-FD171BD1.5t積)	本署へ配置
昭和61年	4月15日	空気呼吸器 (カワサキライフゼムK2) 一式・2台購入 昭和46年10月7日購入の消防ポンプ車 (日産パトロールFH60) 老朽のため廃車	本署・分遣所へ配置
昭和61年	8月1日	消防専用無線電話装置 (移動局) 2基購入 しょうぼうたるみず3 (タンク2号車) しょうぼううしね1 (タンク車)	本署へ配置 分遣所へ配置
昭和61年	11月10日	予防広報用防火フィルム2本購入	本部へ配置
昭和61年	11月13日	消防専用携帯無線電話2基購入 (しょうぼうたるみず16) (しょうぼううしね13)	本部へ配置 分遣所へ配置
昭和61年	12月15日	エンジンカッター1台購入	本署へ配置
昭和61年	12月17日	エンジンチェンソー (ダイワE346-14) 1台購入	本署へ配置
昭和61年	12月17日	自記温度計 (週巻) 1台購入	分遣所へ配置
昭和62年	1月12日	災害用カメラ1台購入	本署へ配置
昭和62年	1月16日	昭和52年3月31日購入の自記温度計 (分遣所配置) 老朽のため廃棄	
昭和62年	1月17日	救急車 (ニッサン2B型) 1台中村商事 (中村幸郎) 寄贈	分遣所へ配置
昭和62年	2月19日	災害用カメラ1台購入	分遣所へ配置
昭和62年	4月14日	昭和53年3月22日購入の救急車 (分遣所配置) 老朽のため廃車	
昭和62年	10月20日	消防専用携帯無線電話2基購入 (しょうぼうたるみず13)	本署へ配置

	(しょうぼううしね14)	分遣所へ配置
昭和62年12月24日	救助資機材 (チルホールT-7型・溶断器ニューチョパック・エアージャッキマキシホース1式) 購入	本署へ配置
昭和63年 3月 3日	電気ドリル (マキタ6010N) 購入	本署へ配置
	ディスクグラインダー (マキタ9500N) 購入	分遣所へ配置
昭和63年 3月22日	消防専用無線電話装置 (移動局) 1基購入	
	救急垂水1 (きゅうきゅうたるみず1)	本署へ配置
昭和63年 6月 7日	予防広報用防火フィルム1本購入	本部へ配置
昭和63年 8月20日	日本消防協会より電源照明付資機材等搬送車 (イスズNHR55E) 寄贈	本署へ配置
昭和63年 8月24日	消防専用携帯無線電話機2基購入 (しょうぼうたるみず17・18)	本署へ配置
昭和63年11月14日	消防ポンプ自動車 (イスズP-NKR58E2N改) 購入	本署へ配置
昭和63年11月15日	消防専用無線電話装置 (移動局) 1基購入	
	しょうぼうたるみず2 (ポンプ車)	本署へ配置
昭和63年12月27日	消防専用携帯無線電話機5W1基購入 (しょうぼうたるみず20)	本署へ配置
平成 元年 1月30日	予防広報用防火フィルム1本購入	本部へ配置
平成 元年 7月13日	救助資機材一式購入	本署へ配置
平成 元年 8月22日	消防専用車載型無線機 (移動局) 1基購入 (しょうぼうたるみず2)	本署へ配置
平成 元年 9月 1日	消防本部現地指揮本部旗購入	本署へ配置
平成 元年11月 2日	予防広報用防火ビデオテープ1本購入	本部へ配置
平成 元年12月 1日	指令車購入	本署へ配置
平成 元年12月13日	安全帯 (東消型) 10個購入	本署(8)分遣所(2)へ配置
平成 元年12月17日	音声合成マイク (大阪サイレン製) 購入	本署(2)分遣所(1)へ配置
平成 2年 1月 5日	消防専用携帯無線電話機5W1基購入 (しょうぼうたるみず21)	本署へ配置
平成 2年 7月 9日	災害組織用救急箱購入	
平成 2年 7月16日	防火フィルム (16ミリ) 購入	
平成 2年10月31日	消防用図書 (日本防災100年史) 購入	
平成 2年11月22日	メガホン (充電式) 購入	
平成 2年12月27日	消防専用携帯無線電話機5W1基購入 (しょうぼううしね20)	分遣所へ配置
平成 3年 1月16日	救急車積載備品購入 (寄贈救急車用)	
平成 3年 1月30日	安田生命より日産キャラバン救急車2B型寄贈	本署へ配置
平成 3年 2月 1日	訓練用消火器2個購入	
平成 3年 2月25日	昭和55年3月31日寄贈の救急車 (日産シビリアン3B型) 垂水中央病院へ譲渡	
平成 3年 5月16日	消防署応援旗購入	
平成 3年 6月18日	空気呼吸器用ボンベ (超軽量) 購入2本	
平成 3年 7月11日	防火用懸垂幕購入	分遣所へ配置
平成 3年 7月11日	水槽付消防ポンプ車購入	分遣所へ配置
平成 3年 9月 2日	消防専用車載型無線機 (移動局) 1基購入 (しょうぼうたるみず2)	本署へ配置
平成 3年 9月26日	昭和51年11月4日購入の水槽付消防ポンプ車 (日野KR321) 老朽のため廃車	
平成 3年10月18日	充電器1台購入	本署へ配置
平成 3年10月23日	訓練用レサシアン (ジュニア用) 購入	本署へ配置
平成 3年10月23日	消防専用携帯無線電話機1W1基購入 (しょうぼうたるみず12)	本署へ配置
平成 3年11月22日	小型動力ポンプ積込式軽自動車 (ホンダ660CC) 1台購入	分遣所へ配置
平成 3年11月27日	小型動力ポンプ積込式軽自動車 (三菱550CC) 老朽のため廃車	
平成 4年 1月10日	牛根分遣所無線基地局購入 (しょうぼううしね)	
平成 4年 2月 5日	消防専用携帯無線電話機5W1基購入 (しょうぼうたるみず11)	本署へ配置
平成 4年11月21日	救助ロープ投下袋購入	本署へ配置

平成 5年 2月 12日	教材用ビデオ購入	本署へ配置
平成 5年 3月 1日	水力発電施設周辺地域交付金事業により林野火災用資機材購入	
平成 5年 5月 25日	救急資機材 咽頭鏡セット・聴診器購入	
平成 5年 6月 7日	救急資機材 マギール鉗子購入	
平成 5年 7月 26日	広報車(株)垂水生コンより寄贈 (トヨタ、ステーションワゴン) 10人乗	
平成 5年12月 20日	組立式野外天幕購入	
平成 6年 2月 15日	カメラ1台購入	本署へ配置
平成 6年 3月 20日	消防用ホース30本購入	本署へ配置
平成 6年 5月 27日	消防専用携帯無線電話機5w3基購入 (しょうぼうたるみず22) (しょうぼううしね21・23)	本署(1)配置 分遣所(2)へ配置
平成 6年 8月 25日	手指消毒器購入	本署へ配置
平成 6年 9月 27日	気象観測雨量計購入	分遣所へ配置
平成 6年12月 2日	水力発電施設周辺地域交付金交付事業による林野火災用資機材購入	
平成 7年 5月 19日	消防専用携帯無線電話機5W6基購入 (しょうぼうたるみず23・24・25・26・27) (しょうぼううしね22)	本署(5)へ配置 分遣所(1)へ配置
平成 7年 7月 5日	心肺蘇生法訓練用ダミー6体購入	本署へ配置
平成 7年 7月 21日	救急資機材 (患者監視装置) 1台購入	本署へ配置
平成 7年 8月 31日	発電機購入	分遣所へ配置
平成 7年11月 2日	石油交付金事業による携帯無線機5W1基購入(しょうぼうたるみず28)	本署へ配置
平成 7年12月 13日	カメラ2台・ハンマードリル購入	本署へ配置
平成 8年 6月 13日	張力計購入	本署へ配置
平成 8年 7月 30日	心肺蘇生法訓練用ダミー5体購入	本署へ配置
平成 8年10月 5日	消防用ホース24本購入	本署(18)分遣所(6)へ配置
平成 8年11月 2日	空気呼吸器一式購入	本署へ配置
平成 8年11月 18日	石油交付金事業による携帯無線機5W1基購入(しょうぼうたるみず11)	本署へ配置
平成 8年12月 11日	日産ホーミー救急車資機材一式寄贈命名財宝号 (株) 鹿農	本署へ配置
平成 8年12月 11日	昭和62年4月1日寄贈の救急車 (分遣所配置) 老朽のため廃車	
平成 9年 3月 12日	平成3年1月30日日産キャラバン救急車 (安田生命寄贈) 本署へ分遣所へ配置替	
平成 9年 3月 17日	頸椎固定シーネックロック (6サイズ) 購入	本署へ配置
平成 9年 9月 30日	消防用ホース22本購入	本署へ配置
平成 9年10月 30日	石油交付金事業による1W携帯無線機を5W更新 (しょうぼうたるみず14)	本署へ配置
平成 9年12月 2日	水槽付消防ポンプ自動車 (日野 KC-GDIJGBA、2.5t積)	本署へ配置
平成 9年12月 2日	昭和59年11月30日購入のタンク車 (2.5t積) 老朽のため廃車	
平成 9年12月 7日	携帯用人工蘇生器モニターセット EM-1型1組購入	本署へ配置
平成10年 1月 28日	救急用布担架購入	分遣所へ配置
平成10年 3月 27日	頭部固定用具セット一式購入	分遣所へ配置
平成10年10月 10日	アネロイドメーター式血圧計3台購入	本署(2)分遣所(1)へ配置
平成10年11月 30日	石油交付金事業による携帯無線機5W1基購入 (しょうぼうたるみず15)	本署へ配置
平成11年 3月 23日	ポータブル吸引器 (OB2000) 1台購入	本署へ配置
平成11年 5月 14日	ポータブル吸引器 (OB2000) 1台購入	分遣所へ配置
平成11年 8月 10日	心肺蘇生法訓練用ダミー購入	本署へ配置
平成11年 8月 18日	消防専用無線電話装置(移動局)1基購入 (きゅうきゅううしね1)	分遣所へ配置
平成11年 9月 20日	救急用パルスオキシメーター購入	分遣所へ配置

平成11年 9月21日	気象用自記気圧計購入	本署へ配置
平成11年11月11日	石油交付金事業による携帯無線機5W1基購入(しょうぼうたるみず16)	本署へ配置
平成11年11月11日	昭和60年3月14日寄贈の救急車日産キャラバン老朽のため廃車	
平成11年11月11日	救急自動車購入(2B型)日産キャラバン	本署へ配置
平成12年 2月 1日	消防専用無線電話装置(移動局)1基購入(しょうぼうたるみず5)	本署へ配置
平成12年 5月23日	救命胴衣20着購入	本署(15)分遣所(5)へ配置
平成12年 5月23日	自記温湿度計購入	本署へ配置
平成12年10月12日	トランジスターメガホン購入	本署へ配置
平成12年11月 2日	消防ポンプ自動車CD-1型(イズズKK-NKS71GR)	
	日本損害保険協会寄贈	本署へ配置
平成12年11月 2日	昭和63年11月14日購入の消防ポンプ自動車(イズズ-NKR 58E2N改)	
	老朽のため廃車	
平成13年 1月19日	救助用機具(救助用縛帯3個、安全带5個、エッジプロテクター1個)購入	本署へ配置
平成13年 2月28日	石油交付金事業による5W携帯無線機3基購入 (しょうぼうたるみず13・17・18)	本署へ配置
平成13年 3月28日	カメラ1台購入	本署へ配置
平成13年 6月20日	消防専用携帯無線電話機1基購入(しょうぼううしね13)	分遣所へ配置
平成13年 7月19日	消防ホース15本購入	本署(5)分遣所(10)へ配置
平成13年12月 7日	石油交付金事業による5W携帯無線機1基購入 (しょうぼうたるみず20)	本署へ配置
平成14年 3月27日	バックボート購入	救急2号車へ配置
平成14年 5月24日	消防専用携帯無線電話機5W1基購入(しょうぼううしね14)	分遣所へ配置
平成14年 8月30日	全自動蒸気滅菌器・脱臭殺菌オゾン発生装置・手指消毒器 殺菌線ロッカー・消毒器用保管庫購入	本署へ配置
平成14年 9月24日	高度救急処置シュミレーター	本署へ配置
	頰椎、脊椎固定搬送用具購入	分遣所へ配置
平成14年12月12日	日産ホーミー救急車(財宝号(株)鹿農)	分遣所へ配置替
平成14年12月20日	石油交付金事業による5W携帯無線機2基購入 (しょうぼうたるみず12・21)	本署へ配置
平成15年12月 8日	消防専用無線電話装置1基購入(しょうぼうたるみず3)	本署へ配置
平成16年 1月19日	高規格救急自動車(ニッサンTC-FTWGE50)購入	本署へ配置
	救急1号車廃車(安田生命平成3年1月15日寄贈分)	
平成16年 5月31日	消防専用携帯無線電話機5W1基購入	本署へ配置
平成16年 6月24日	消防専用携帯無線電話機5W1基購入(しょうぼうたるみず17)	本署へ配置
平成17年 3月 1日	消防専用無線電話装置1基購入(しょうぼうたるみず4)	本署へ配置
平成17年 5月 9日	バキュームスプリントC1一式購入	救急1号へ配置
平成17年 7月28日	消防ホース20本購入	本署(10)分遣所(10)へ配置
平成17年 9月20日	自記温湿度時計一式購入	本署へ配置
平成17年 9月21日	小型動力ポンプ積込式軽自動車ダイハツ660cc1台購入	分遣所へ配置
平成17年 9月21日	小型動力ポンプ積込式軽自動車ホンダ660cc老朽のため廃車	
平成18年 2月 1日	消防ホース10本購入	本署へ配置
平成18年 3月24日	自動体外式除細動器(AED)2式 垂水医師会寄贈	本署・分遣所へ配置
平成18年 4月17日	AEDトレーニングユニット購入	本署へ配置
平成18年 7月25日	自動体外式除細動器(AED)2式購入	本署へ配置
平成18年 7月25日	AEDトレーニングユニット2式購入	本署へ配置

平成18年10月23日	訓練用消火器3本(肝属地区危険物安全協会)寄贈	本署へ配置
平成18年11月7日	ショートボード(脊柱固定用機器)3式 日本損害保険協会寄贈	本署・分遣所へ配置
平成19年1月26日	水槽付消防ポンプ自動車1-A型(1.5t)購入	本署へ配置
平成19年1月26日	昭和61年3月25日購入の水槽付消防ポンプ自動車老朽のため廃車	
平成19年2月2日	石油交付金事業による消防ホース10本購入	本署へ配置
平成19年7月3日	石油交付金事業による消防ホース10本購入 消防ホース20本購入	本署(10)分遣所(10)へ配置
平成19年7月26日	救急車監視モニター購入	本署へ配置
平成19年12月20日	救急車(トヨタ ハイメディック)購入森伊蔵より寄贈 救急車(財宝号)廃車(平成8年12月11日)寄贈分	分遣所へ配置
平成20年6月4日	訓練用消火器5本(肝属地区危険物安全協会)寄贈	本署へ配置
平成20年8月1日	消防ホース巻取り機(タコマンV2)購入	本署へ配置
平成20年9月3日	風車型風速計(500型)転倒ます型雨量計(TR-011型)	本署へ配置
平成20年10月8日	消防ホース20本購入	本署(10)分遣所(10)へ配置
平成20年12月2日	指令車購入(トヨタ ランドクルザープラド)	本署へ配置
平成21年6月16日	訓練用消火器3本購入	本署へ配置
平成21年6月26日	パルスオキシメータ購入	本署へ配置
平成21年8月25日	サーモンフォーカスプロ(体温計)保健福祉課より寄贈	本署・分遣所へ配置
平成21年9月18日	山岳救助資機材購入 (レスキューセンター、プロトラクション、ポーM、エーエムディ スクリュロック、フルボディーハーネス、シットハーネス)	本署へ配置
平成21年10月30日	防火服(上・下)帝国繊維13着、防火帽13個購入	本署へ配置
平成21年11月20日	石油交付金事業による消防ホース10本購入	本署へ配置
平成21年12月4日	アネロイド血圧計 ハンド型購入	本署へ配置
平成22年1月14日	高度救命処置シュミレーターセーブマンLM-073 総務省消防庁貸与品	本署へ配置
平成22年1月20日	尿器2個購入	本署へ配置
平成22年1月22日	蘇生教育モデルJAMY IV RECO 幼児モデルJAMY II baby N AEDトレーナー CR-T 救急振興財団より寄贈	本署へ配置
平成22年2月17日	防滴メガホン(TR-315S) 日本防火・危機管理促進協会より寄贈	本署へ配置
平成22年3月15日	高圧洗浄機リョービAJP-1600 2機購入	本署・分遣所へ配置
平成22年3月19日	アンブ蘇生バックマークIV(成人用)1式購入	本署へ配置
平成22年3月25日	水槽付消防ポンプ自動車II-A型(2.5t)購入	分遣所へ配置
平成22年3月27日	平成3年10月16日購入の水槽付ポンプ自動車老朽のため廃車	
平成22年4月16日	防火衣ロッカー購入	分遣所へ配置
平成22年8月31日	救急車患者監視装置一式購入	分遣所へ配置
平成22年10月12日	救助資器材ルーカス一式(スプレッター・カッター・ラムシリンダー)購入	本署へ配置
平成22年11月30日	消防ホース10本購入	本署へ配置
平成23年3月10日	バックボード購入	分遣所へ配置
平成23年3月18日	訓練用消火器(はやわざクン)3本購入	本署へ配置
平成23年3月29日	電動式可搬型吸引器購入	分遣所へ配置
平成23年3月31日	山岳救助資器材購入	本署へ配置

平成23年 5月 6日	軽量吸水管購入	本署へ配置
平成23年 5月20日	電動式可搬型吸引器購入	本署へ配置
平成23年 7月 1日	水難救助資器材一式購入	本署へ配置
平成23年 7月15日	バキュームスプリント購入	分遣所へ配置
平成23年11月25日	消防用ホース10本購入	本署へ配置
平成23年11月25日	消防用ホース20本購入	分遣所へ配置
平成24年 1月26日	パルスオキシメーター購入	本署へ配置
平成24年 2月29日	電源照明車(日野デュトロSKG-XZU685M型)購入	本署へ配置
平成24年 2月29日	水難救助資器材購入	本署へ配置
平成24年 2月29日	空気ボンベ2本購入	本署へ配置
平成24年 2月29日	空気呼吸器(セイバー自給式呼吸器)購入	本署へ配置
平成24年 3月 1日	昭和63年8月20日購入の電源照明車(イスズ-NHR55E)更新のため廃車	
平成24年 6月14日	空気ボンベ5本購入	本署4本 分遣所1本配置
平成24年11月30日	石油交付金事業による消防ホース10本購入(50ミリ)	本署へ配置
平成25年 2月26日	空気呼吸器(KD30)2器購入	本署へ配置
平成25年 3月18日	水難救助資器材購入	本署へ配置
平成25年 3月22日	自動体外式除細動器(AED2151カルジオライフ)1式購入	分遣所へ配置
平成25年 7月31日	風車型風速計(感部)一式購入	本署へ配置
平成25年 7月31日	転倒ます型雨量計(感部)一式購入	本署へ配置
平成25年10月25日	自動体外式除細動器(AED2151カルジオライフ)1式購入	本署へ配置
平成25年10月29日	救急2号車(トヨタハイメディック)、救急資器材一式購入	本署へ配置
平成25年11月14日	石油交付金事業による空気呼吸器一式(ライフゼム)購入	本署へ配置
平成25年11月14日	消防用ホース(20m)10本購入	分遣所へ配置
平成26年 1月 7日	救急2号車(2B型日産キャラバン)廃車	本署へ配置
平成26年 1月23日	救助マット購入	本署へ配置
平成26年 3月 4日	空気ボンベ2本購入	本署へ配置
平成26年 5月16日	訓練用人形1体購入	本署へ配置
平成26年 5月30日	エンジンカッター(ハスクバーナ製)1機購入	本署へ配置
平成26年 6月12日	訓練用AEDトレーナー(カーディオライフ)1機購入	本署へ配置
平成26年 6月18日	CPR訓練人形(エリックWEK-6)3体購入	本署へ配置
平成26年 6月19日	マルチ型ガス検知器(新コスモスXA-4400)1機購入	本署へ配置
平成26年 9月24日	石油交付金事業による空気呼吸器(ライフゼムA1-12)1器及び、 空気ボンベ(軽量)(730CII)1本購入	本署へ配置
平成26年 9月29日	消防用ホース(20m)20本購入	本署へ配置
平成27年 3月23日	無線統合システム及びデジタル消防救急無線運用開始	本署・分遣所へ配置
平成27年 4月27日	足踏み式ディスペンサーHC-800 1機購入	本署へ配置
平成27年 4月30日	オキシバッグWOB 購入	分遣所へ配置
平成27年 5月11日	サーボクレーブ TE-240RE 購入	本署へ配置
平成27年 5月25日	空気ボンベ2本購入	本署へ配置
平成27年 6月30日	CPR訓練人形 マネキンエリックLMS-31 3機購入	本署へ配置
平成27年 7月 7日	タブレット端末F-03G 3機購入	本署2・分遣所1配置
平成27年 9月 8日	消防用ホース巻取り機(タコマンV2)購入	分遣所へ配置
平成27年11月19日	石油交付金事業による空気呼吸器(ライフゼムA1-12)1器及び 空気ボンベ(軽量)(730CIII)1本購入	本署へ配置
平成27年12月11日	緊急消防援助隊設備整備費事業による災害対応特殊救急自動車 (トヨタ TRH226S-QFPDK-H)購入	本署へ配置

平成27年12月14日	消防ポンプ自動車(日野 TKG-XZU685M) 購入	本署へ配置
平成27年12月14日	平成12年11月2日寄贈(日本損害保険協会)の消防ポンプ自動車CD-1型 (イスズKK-NKS71GR)をリサイクル援助事業により海外へ寄贈	
平成27年12月15日	平成16年1月19日購入の高規格救急車をリサイクル援助事業により海外へ寄贈	
平成27年12月25日	平成5年7月26日寄贈(垂水生コン(株))による広報車更新のため廃車	
平成28年 3月 2日	空気呼吸器(KD30) 1機購入	本署へ配置
平成28年 3月22日	アンプ蘇生バッグIV(成人用) 1式購入	分遣所へ配置
平成28年 3月23日	パルスオキシメータ購入	分遣所へ配置
平成28年 3月24日	気道確保訓練用資機材1式	
	静脈路確保訓練用資機材1式 救急振興財団より寄贈	本署へ配置
平成28年 4月28日	capnoプチポケット CO2モニター(WEC-7301) 購入	本署へ配置
	CO2センサー(TG-121T) 購入	本署へ配置
平成28年 6月23日	風向風速計4要素記録器 購入	本署へ配置
平成28年 9月12日	空気呼吸器(ライフゼムA1-12) 1器及び空気ボンベ(軽量) (730CⅢ) 1本購入	本署へ配置
平成28年11月26日	石油交付金事業による空気呼吸器(ライフゼムA1-12) 1器及び 空気ボンベ(軽量)(730CⅢ) 1本購入	本署へ配置
平成28年12月18日	ワイヤレスアンプ(マイク)(ピンマイク) 一式 購入	本署へ配置
平成29年 1月20日	エアーコンプレッサー 一式 購入	本署へ配置
平成29年 8月22日	空気呼吸器(ライフゼムK2) 3器(平成3・12・13年購入) 廃棄	
平成29年 9月22日	心肺蘇生訓練用人形2体(成人・乳児)	
	AEDトレーナー1式 救急振興財団より寄贈	本署へ配置
平成29年10月18日	自動体外式除細動器(ZOLL AED Pro) 購入	分遣所へ配置
平成29年11月15日	水槽付消防ポンプ自動車CAFS搭載 2.0t積(日野) 購入	本署へ配置
平成29年11月27日	石油交付金事業による空気呼吸器(ライフゼムA1-12) 1器及び 空気ボンベ(軽量)(730CⅢ) 1本購入	本署へ配置
平成29年12月 4日	消防用ホース(50mm×20m) 20本購入	本署・分遣所へ配置
平成29年12月12日	水槽付消防ポンプ自動車(日野KC-GDIJGBA 2.5t積) 更新のため廃車	
平成30年 6月29日	水難救助資機材 一式 購入	
平成30年10月11日	分遣所救急車(トヨタハイメディック)及び救急資機材一式 購入	分遣所へ配置
平成31年 1月11日	平成19年12月20日寄贈(森伊蔵)の救急車を鹿屋医療センターへ譲渡	
平成31年 3月22日	静脈路確保困難モデル 一式 救急振興財団より寄贈	本署へ配置
令和 元年 5月14日	空気呼吸器(ライフゼムKD30F) 3器購入	本署へ配置
令和 元年 7月30日	救助訓練用安全マット 購入	本署へ配置
令和 元年10月10日	消防用ホース(65mm×20m) 20本購入	本署へ配置
令和 元年11月26日	石油交付金事業による空気呼吸器(ライフゼムA1-12) 1器及び 空気ボンベ(軽量)(730CⅢ) 1本購入	分遣所へ配置
令和 2年 3月23日	チェンソー用保護ズボン 5着購入	本署・分遣所へ配置
令和 2年10月29日	油圧救助資機材(ホルマトロー式) 購入	本署へ配置
令和 2年11月16日	消防団用ホース(65mm×20m) 20本購入	本署・分遣所へ配置
令和 2年12月17日	小型動力ポンプ積載車 購入	分遣所へ配置
令和 3年 3月 4日	オゾン装置監視モニター付 購入	本署へ配置
令和 3年 6月16日	山岳救助資機材 フルボディハーネス 5着購入	本署・分遣所へ配置
令和 3年 7月 8日	汚染物専用洗濯機 1台購入	本署へ配置

令和 3年 8月 6日	自動体外式除細動器AED-3100 購入	本署へ配置
令和 3年 8月10日	チェーンソーSTIHL MS230 購入	本署へ配置
令和 3年 9月24日	空気ボンベ(軽量)730CⅢAZ 石油交付金事業にて3本受領	本署へ配置
令和 3年10月 5日	消防用ホース(65mm×20m)	本署・分遣所へ配置
令和 3年10月 6日	エアーコンプレッサー 購入	本署へ配置
令和 3年10月22日	オゾン水発生装置 地方創生交付金事業にて2機受領	本署・分遣所へ配置
令和 3年11月27日	ビデオ喉頭鏡マックグラス 鹿児島県消防学校より受領	分遣所へ配置
令和 3年12月15日	高度救急シミュレーター 地方創生交付金事業にて1式受領	本署へ配置
令和 4年 3月17日	電動式心肺人口蘇生器コーパルスCPR 地方創生交付金事業にて2機受領	本署・分遣所へ配置
令和 4年 3月28日	現場用カメラ 購入	本署へ配置

(2) 消防団

明治25年11月10日	大ポンプ独乙型114号並びにハンド郷筒石川島製購入	
大正11年6月	ドイツ型1号消防用ハンド卿筒購入(190円)	
昭和5年5月	ベンツタービン自動車購入(9,500円)	町8,000 寄付金1,500
昭和26年1月	消防ポンプ三輪自動車購入	第2分団へ配置
昭和27年1月	消防機材積込車(三輪自動車)購入	第6分団へ配置
昭和28年1月	消防ポンプ自動車いすゞTX30A1級購入	第1分団へ配置
昭和29年9月	消防ポンプ自動車出光号A2級購入	第4分団へ配置
昭和29年9月	消防ポンプ自動車出光号A2級購入	第3分団へ配置
昭和31年10月1日	小型動力ポンプB-3級購入	第7分団麓へ配置
昭和32年1月	小型動力ポンプ中央号B-3級購入	第9分団境へ配置
昭和32年12月	小型動力ポンプ中央号B-3級購入	第9分団境へ配置
昭和33年1月	小型動力ポンプ中央号B-3級購入	第1分団市木へ配置
昭和33年1月	小型動力ポンプエムロC-3級購入	第5分団大野へ配置
昭和33年1月	小型動力ポンプ中央号B-3級購入	第7分団辺田へ配置
昭和33年1月	小型動力ポンプ中央号B-3級購入	第9分団高野へ配置
昭和33年12月	小型動力ポンプジャイアント号B-1級購入	第8分団二川へ配置
昭和33年12月	小型動力ポンプ中央号B-3級購入	第8分団深港へ配置
昭和35年2月	小型動力ポンプ中央号B-3級購入	第8分団浮津へ配置
昭和35年12月	消防ポンプ自動車ニッサンジュニアB-1級購入	第6分団へ配置
昭和36年2月	小型動力ポンプラビットB-3級購入	第1分団中央へ配置
昭和37年12月	消防ポンプ自動車いすゞTXG30A1級購入	第1分団へ配置
昭和37年12月	小型動力ポンプラビットB-3級購入	第3分団へ配置
昭和38年12月24日	消防機材積込車トヨペット62.5Ps購入	第8分団へ配置
昭和39年4月1日	小型動力ポンプトーハツC1級購入	第8分団へ配置
昭和39年12月29日	消防ポンプ自動車ニッサンジープA2級購入	第2分団へ配置
昭和40年5月20日	小型動力ポンプラビットC-1級購入	第1分団浜平へ配置
昭和40年5月31日	小型動力ポンプラビットB-3級購入	第3分団へ配置
昭和40年9月10日	小型動力ポンプラビットB-3級購入	第4分団馬込へ配置
昭和41年10月15日	小型動力ポンプラビットB-3級購入	第2分団へ配置
昭和41年11月26日	小型動力ポンプラビットB-3級購入	第6分団へ配置
昭和42年10月9日	小型動力ポンプトーハツB-3級購入	第4分団段へ配置
昭和42年10月9日	小型動力ポンプトーハツB-3級購入	第8分団二川へ配置
昭和42年11月14日	消防機材積込車トヨペット66.6Ps購入	第9分団へ配置
昭和43年11月7日	消防機材積込車トヨペット67.8Ps購入	第7分団へ配置
昭和44年9月24日	小型動力ポンプラビットB-3級購入	第5分団へ配置
昭和45年10月17日	小型動力ポンプラビットB-3級購入	第9分団へ配置
昭和45年12月24日	消防ポンプ自動車ニッサンパトロールFN60A2級購入	第9分団へ配置
昭和45年12月28日	昭和42年11月14日購入の消防機材積込車を第5分団大野へ配置替	
昭和46年8月16日	昭和29年9月購入の第3分団消防ポンプ自動車中央号老朽のため廃車	
昭和46年10月20日	小型動力ポンプラビットB-3級購入	第6分団大浜へ配置
昭和46年12月20日	消防ポンプ自動車ニッサンジュニアPF140購入	第3分団へ配置
昭和47年8月20日	小型動力ポンプラビットB-3級購入	第8分団中浜へ配置
昭和47年9月9日	消防ポンプ自動車ニッサンパトロールFH-60型購入	第4分団へ配置
昭和47年9月21日	昭和29年9月購入の第4分団消防ポンプ自動車出光号A-2級老朽のため廃車	

昭和48年 6月12日	昭和28年1月購入の第1分団消防ポンプ自動車いすゞTX30A-1級 老朽のため廃車
昭和48年 8月 4日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第5分団垂桜へ配置
昭和48年 8月 9日	昭和39年4月1日購入の第8分団中浜小型動力ポンプトーハツC-1級 老朽のため廃棄
昭和48年10月12日	昭和33年12月購入の第8分団ニ川小型動力ポンプジャイアントB-2級 老朽のため廃棄
昭和48年10月31日	昭和38年12月24日購入の第8分団消防機材積込車トヨペット62.5Ps 老朽のため廃車
昭和48年10月31日	消防ポンプ自動車日産パトロールF140型B-1級 第8分団へ配置
昭和49年 8月12日	昭和40年5月20日購入の第1分団浜平の小型動力ポンプラビットC-1級 本部へ配置替
昭和49年 8月12日	昭和33年1月購入の第1分団市木小型動力ポンプ中央号B-3級を浜平へ配置替
昭和49年 8月12日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第1分団市木へ配置
昭和49年 8月12日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第3分団錦町へ配置
昭和49年11月28日	昭和43年11月7日購入の第7分団消防機材積込車を第5分団垂桜へ配置替
昭和49年12月20日	消防ポンプ自動車日産パトロールF140型B-1級 第7分団へ配置
昭和50年 7月 7日	昭和33年1月購入の第5分団大野小型動力ポンプエムロC-3級老朽のため廃棄
昭和50年 7月25日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第7分団へ配置
昭和50年 7月25日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第9分団へ配置
昭和51年 7月23日	昭和32年1月購入の第9分団境小型動力ポンプ中央号B-3級老朽のため廃棄
昭和51年 7月23日	昭和36年2月購入の第1分団中央小型動力ポンプラビットB-3級 老朽のため廃棄
昭和51年 7月23日	昭和40年5月20日購入の第1分団浜平小型動力ポンプラビットC-1級 老朽のため廃棄
昭和51年 8月10日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第1分団浜平へ配置
昭和51年 8月10日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第8分団ニ川へ配置
昭和51年 8月15日	受令機購入 (スタンダード社C850Z) 第1～第9分団へ取付
昭和51年10月23日	昭和33年1月購入の第7分団辺田小型動力ポンプ中央号B-3級老朽のため廃棄
昭和52年 1月10日	昭和33年1月購入の第1分団市木小型動力ポンプ中央号B-3級老朽のため廃棄
昭和52年 8月15日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第2分団へ配置
昭和52年 8月15日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第3分団へ配置
昭和52年 9月27日	消防ポンプ自動車日産パトロールFHN60型購入 第6分団へ配置
昭和52年12月11日	昭和31年10月購入の第7分団麓小型動力ポンプ中央号B-3級老朽のため廃棄
昭和53年 5月 2日	昭和35年12月購入の第6分団消防ポンプ自動車日産ジュニアB-1級 老朽のため廃車
昭和53年 7月11日	ヴァリアブルノズル20本購入 各分団へ支給
昭和53年 8月15日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第6分団へ配置
昭和53年 8月15日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第7分団へ配置
昭和53年 8月15日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第9分団へ配置
昭和53年10月 6日	消防ポンプ自動車購入日産FH60A-2級 第1分団へ配置
昭和53年10月 9日	昭和37年12月購入の第1分団消防ポンプ自動車いすゞTXG-30A-1級 老朽のため廃車
昭和54年 9月 3日	昭和33年12月購入の第8分団深港小型動力ポンプ中央号-3級老朽のため廃棄
昭和54年 9月 3日	昭和35年12月購入の第8分団浮津小型動力ポンプ中央号-3級老朽のため廃棄

昭和54年 9月13日	小型動力ポンプラビットP407B-3級2台購入	第8分団深港・浮津へ配置
昭和54年11月30日	トランジスターメガホン(ER-64)2個購入	第2・7分団へ配置
昭和55年 8月11日	小型動力ポンプラビットP407B-3級2台購入	第3・4分団へ配置
昭和55年 8月22日	小型動力ポンプ積込車トヨペットダブルキャビン1台購入	第5分団大野へ配置
昭和56年 3月18日	昭和37年12月購入の第3分団小型動力ポンプラビットB-3級老朽のため廃棄 昭和40年9月10日購入の第4分団馬込小型動力ポンプラビットB-3級老朽のため廃棄	
昭和56年 3月18日	昭和42年11月14日購入の第5分団大野消防機材積込車トヨペット66.6Ps老朽のため廃車	
昭和56年 8月19日	小型動力ポンプラビットP407B-3級2台購入	第2・8分団へ配置
昭和56年 8月19日	昭和42年10月9日購入の第8分団小型動力ポンプトローハツB-3級老朽のため廃棄	
昭和56年 8月19日	昭和41年10月15日購入の第2分団小型動力ポンプラビットB-3級老朽のため廃棄	
昭和56年11月14日	昭和32年12月及び昭和33年1月購入の第9分団小型動力ポンプ中央号B-3級老朽のため廃棄	
昭和56年11月14日	昭和40年5月31日購入の第3分団小型動力ポンプラビットB-3級老朽のため廃棄	
昭和57年 8月10日	小型動力ポンプラビットP407MB-3級2台購入	第5分団(大野)・6分団へ配置
昭和57年 9月 6日	昭和41年11月26日購入の第6分団小型動力ポンプラビットB-3級老朽のため廃棄	
昭和57年 9月 6日	昭和44年9月24日購入の第5分団(大野)小型動力ポンプラビットB-3級老朽のため廃棄	
昭和57年11月26日	消防ポンプ自動車日産J-FG160 A-2級購入	第2分団へ配置
昭和57年12月20日	昭和39年12月29日購入の第2分団消防ポンプ自動車日産ジープA-2級老朽のため廃車	
昭和58年11月11日	小型動力ポンプラビットP407AB-3級購入	第4分団(段)へ配置
昭和59年 1月 4日	昭和42年10月9日購入の第4分団(段)小型動力ポンプトローハツB-3級老朽のため廃棄	
昭和61年 6月27日	消防ポンプ自動車日産サファリFG6購入	第3分団へ配置
昭和61年 6月30日	小型動力ポンプ積載車日産アトラスWキャブ1t車購入	第5分団(垂桜)へ配置
昭和61年10月 4日	昭和46年12月20日購入の第3分団日産パトロールF140老朽のため廃車 昭和43年11月7日購入の第5分団車(垂桜)トヨペット老朽のため廃車	
昭和62年10月 2日	消防ポンプ自動車日産サファリFG161購入	第9分団へ配置
昭和62年10月15日	昭和45年12月24日購入の第9分団日産パトロールFHN60老朽のため廃車	
昭和62年12月 2日	小型動力ポンプラビットP-407B3級2台購入	第9分団(高野)・第6分団(大浜)へ配置
昭和63年 1月19日	昭和45年10月17日購入の第9分団(高野)小型動力ポンプラビットP406 昭和46年10月30日購入の第6分団(大浜)小型動力ポンプラビットP407老朽のため廃棄	
昭和63年 8月30日	消防ポンプ自動車日産サファリT-FGY60改購入	第4分団へ配置
昭和63年 9月 1日	昭和47年9月9日購入の第4分団車日産FH60老朽のため廃車	
平成 元年 3月 7日	小型動力ポンプラビットP407RM-3級1台購入	第5分団(垂桜)へ配置
平成 元年 3月 8日	昭和48年8月4日購入の第5分団(垂桜)小型動力ポンプラビットP405A老朽のため廃棄	

平成 元年 8月31日	昭和47年8月20日購入の第8分団(中浜)小型動力ポンプラビットP406 昭和51年8月10日購入の第8分団(車庫)小型動力ポンプ P405A 老朽のため 廃棄
平成 元年 9月28日	消防ポンプ自動車日産サファリーFGY60購入 第8分団へ配置
平成 元年 9月29日	昭和48年10月31日購入の第8分団車日産F140老朽のため廃車
平成 元年12月 4日	小型動力ポンプラビットP407RM-3級1台購入 第2分団(中俣)へ配置
平成 元年12月25日	昭和50年7月26日購入の第7分団(辺田)小型動力ポンプラビットP405A 老朽のため廃棄
平成 2年 3月31日	昭和49年10月14日購入の第3分団(錦町)小型動力ポンプラビットP407 昭和50年7月24日購入の第9分団(車庫)小型動力ポンプラビットP405A 老朽のため廃棄
平成 2年10月16日	消防ポンプ自動車日産サファリーT-FGY-60購入 第7分団へ配置
平成 2年10月16日	昭和49年12月20日購入の第7分団車日産F140老朽のため廃車
平成 3年 8月 1日	小型動力ポンプシバウラTF-30MES-3級1台購入 第1分団へ配置
平成 3年 8月28日	昭和49年8月12日購入の第1分団(市木)小型動力ポンプラビットP405A 老朽のため廃棄
平成 4年11月10日	消防ポンプ自動車日産サファリー96ZFGY60購入 第6分団へ配置
平成 5年 1月11日	昭和50年9月27日購入の第6分団日産FHN60老朽のため廃車
平成 5年 9月21日	消防ポンプ自動車三菱U-FE337B購入 第1分団へ配置
平成 5年 9月22日	昭和55年10月6日購入の第1分団車日産FH60老朽のため廃車
平成 5年11月12日	小型動力ポンプトーハツV38CS1台購入 第1分団へ配置
平成 5年11月15日	昭和51年8月10日購入の第1分団(浜平)小型動力ポンプラビットP405A 老朽のため廃棄
平成 7年 9月 7日	小型動力ポンプトーハツV38CS1台購入 第2分団(脇登)へ配置
平成 7年 9月14日	昭和52年8月15日購入の第2分団(脇登)小型動力ポンプラビットP405A 老朽のため廃棄
平成 7年12月 8日	小型動力ポンプ付積載車トヨタトヨエースWキャブ車購入 第5分団(大野)へ配置
平成 7年12月19日	昭和55年8月22日購入の第5分団(大野)トヨペット小型動力ポンプ積込車 老朽のため廃車
平成 8年 3月12日	小型動力ポンプシバウラB-6, 121台購入 第7分団(辺田)へ配置 昭和53年8月15日購入の第7分団(辺田)小型動力ポンプラビットP-407 老朽のため廃棄
平成 8年 3月28日	消防ポンプ自動車トヨタランドクルーザーKC-HZJ75購入 第2分団へ配置
平成 8年 3月31日	消防ポンプ自動車日産J-FG160A-2級 第5分団(垂桜)へ配置替
平成 8年 3月31日	小型動力ポンプ付積載車日産アトラスWキャブ1t車廃車
平成 8年10月 5日	消防用ホース10本購入 第4分団へ配置
平成 9年 1月 7日	防火外套4着購入 第1・2分団へ配置
平成10年 3月 5日	火点標示用標的2台購入
平成10年12月11日	小型動力ポンプシバウラSF-655B3級購入 第9分団(車庫)へ配置
平成10年12月11日	昭和53年8月15日購入の第9分団(車庫)小型動力ポンプラビットP407 老朽のため廃棄
平成11年 1月25日	ガソリン携行缶5リットル19缶購入 各分団へ配置
平成11年 8月18日	角型組立水槽1基購入
平成12年 5月17日	角型組立水槽1基・火点標示用標的1台購入
平成12年 9月 1日	消防用ホース27本購入 各分団(3)配置

平成12年12月13日	小型動力ポンプトローハツV55BSXB-3級購入	第8分団(深港)へ配置
平成12年12月13日	昭和54年9月13日購入の第8分団(深港)小型動力ポンプラビットP407 老朽のため廃棄	
平成13年7月19日	消防用ホース45本購入	各分団へ配置
平成13年7月24日	消防団操法用ホース9本 角型組立水槽1基 火点標示用標的1台購入	
平成13年8月3日	小型ポンプトローハツV55BSXB-3級購入	第4分団(馬込)へ配置
平成13年8月6日	昭和55年8月11日購入の第4分団(馬込)小型ポンプラビットP407 老朽のため廃棄	
平成14年3月27日	火点標示用標的1台購入	
平成14年8月28日	小型動力ポンプシバウラTF640MHB-3級購入	第3分団へ配置
平成14年8月28日	昭和55年8月11日購入の第3分団小型動力ポンプラビットP407 老朽のため廃棄	
平成15年12月8日	小型動力ポンプシバウラB-3級購入	第2分団へ配置
平成16年4月1日	第4分団(段)資機材倉庫廃止	
平成16年4月1日	第8分団(浮津)資機材倉庫廃止	
平成16年5月28日	消防用ホース(操法用)4本購入	
平成16年6月25日	小型動力ポンプラビットP455ASD-3級購入	第8分団(中浜)へ配置
平成16年6月25日	昭和56年8月19日購入の第8分団(中浜)小型動力ポンプラビットP407 老朽のため廃棄	
平成16年10月5日	第7分団本部庁舎新築(牛根麓1108-3)	
平成17年8月9日	小型動力ポンプラビットP455BS購入	第6分団(車庫)へ配置
平成17年8月16日	昭和57年8月10日購入の第6分団(車庫)小型動力ポンプラビットP406 老朽のため廃棄	
平成18年8月31日	消防用ホース20本購入	各分団へ配置
平成19年12月21日	第2分団本部庁舎新築	
平成20年10月8日	消防用ホース10本購入	各分団へ配置
平成20年10月29日	消防ポンプ自動車日野デュトロBDG-XZU304E型購入	第3分団へ配置
平成20年10月29日	昭和61年9月25日購入の第3分団消防ポンプ自動車日産サファリFG6 第5分団(垂桜)へ配置替	
平成20年10月29日	昭和57年11月26日購入の消防ポンプ自動車J-FG160 A-2級 第5分団(垂桜) 老朽のため廃車	
平成21年8月27日	小型動力ポンプシバウラSF656MZ購入	第5分団(垂桜)へ配置
平成21年8月31日	平成元年3月7日購入の第5分団(垂桜)小型動力ポンプラビット P407RM-3級老朽のため廃棄	
平成21年10月6日	浮環(2個)、救命胴衣(4着)購入	第1・4分団へ配置
平成21年11月20日	消防用ホース10本購入	各分団へ配置
平成23年3月10日	消防ポンプ自動車日野デュトロBDG-XZU304E型購入	第4分団へ配置
平成23年3月10日	消防ポンプ自動車日野デュトロBDG-XZU304E型購入	第9分団へ配置
平成23年3月14日	昭和63年8月29日購入の第4分団消防ポンプ自動車 日産サファリT-FGY60改	第5分団(垂桜)へ配置替
平成23年3月14日	昭和61年9月25日購入の第3分団消防ポンプ自動車日産サファリFG6 第5分団(垂桜) 老朽のため廃棄	
平成23年3月14日	昭和62年10月2日購入の第9分団消防ポンプ自動車日産サファリFG161 老朽のため廃棄	
平成23年3月20日	第5分団(垂桜) 庁舎新築	

平成24年 3月30日	スタンド付ハロゲンライト、発電機、ライフジャケット、浮環、電気メガホン、トランシーバー購入	各分団へ配置
平成24年 3月30日	トーハツ2馬力船外機購入	第1分団へ配置
平成24年11月14日	平成元年12月4日購入の第2分団(中俣器材庫)小型動力ポンプラビットP407RM-3級 器材庫閉鎖のため廃棄	
平成24年11月21日	消防ポンプ自動車日野デュトロTKG-XZU600E型購入	第1分団へ配置
	消防ポンプ自動車日野デュトロTKG-XZU600E型購入	第8分団へ配置
平成24年11月22日	平成5年9月21日購入の第1分団消防ポンプ自動車(三菱)老朽のため廃棄 平成元年9月28日購入の第8分団消防ポンプ自動車(日産サファリ)老朽のため廃棄	
平成24年12月 1日	消防用ホース20本購入	各分団へ配置
平成25年 7月16日	小型動力ポンプトーハツVF-53ASB-3級購入	第1分団(浜平班)へ配置
平成25年 7月17日	平成5年11月12日購入の第1分団(浜平班)小型動力ポンプトーハツV38CG老朽のため廃棄	
平成25年11月14日	平成2年10月16日購入の第7分団消防ポンプ自動車(日産サファリ)老朽のため廃棄	
平成25年11月15日	消防ポンプ自動車日野デュトロTKG-XZU600E型購入	第7分団へ配置
平成26年 9月 3日	消防ポンプ自動車日産J-FG160A-2級 第5分団車(垂桜)	老朽のため廃棄
平成26年11月 5日	消防ポンプ自動車日野デュトロTKG-XZU600E型購入	第6分団へ配置
平成26年11月10日	消防ポンプ自動車日産サファリ96ZFGY60	第5分団(垂桜)へ配置替
平成26年12月16日	国道道路拡張に伴い、新8分団庁舎引き渡し	第8分団へ配置
平成27年 2月27日	総務省消防庁 救助資機材搭載型消防ポンプ自動車購入	第2分団へ配置
平成27年 3月 3日	平成8年 3月28日購入の第2分団消防ポンプ自動車(日産サファリ)老朽のため廃棄	
平成27年 3月23日	デジタル消防無線運用開始	各分団へ配置
平成27年 8月10日	小型動力ポンプ トーハツ3WF61A B-3級	第7分団(辺田)へ配置
平成27年 8月11日	平成8年8月12日購入の第7分団(辺田)小型動力ポンプシバウラB-3級TH-35ME8-B老朽のため廃棄	
平成27年12月17日	消防防災活動車(トヨタ ハイエース) 購入	団本部へ配置
平成28年11月22日	水槽付小型ポンプ積載車TKG-XZU685 PKMMB 購入	第5分団(大野)へ配置
平成30年 8月 6日	安全対策装備品(チェーンソー9台) 購入	各分団へ配置
平成30年10月23日	小型動力ポンプ シバウラFF450AS 購入	第9分団へ配置
平成30年11月 9日	昭和62年12月2日購入の小型動力ポンプ 老朽のため廃棄(高野)	
令和 元年 5月23日	安全装備品救命胴衣BW-2003型 80着購入	各分団へ配置
令和 2年 2月13日	チェーンソー用保護ズボン 9着購入	各分団へ配置
令和 2年 3月18日	防火衣一式 5組 購入	第3分団へ配置
令和 2年 8月20日	エンジンカッター(9台) 購入	各分団へ配置
令和 3年 9月17日	小型動力ポンプトーハツVF631 B-2級 購入	第3分団へ配置

2 消防ポンプ自動車

(1)本 署

(令和4年4月1日現在)

車 種	車 名	購入年月日・馬力	ポ ン プ 種 別	備 考
水槽付消防ポンプ車	日 野	H29.11.15 200	モリタ 高圧1段ボリュートポンプ	デジタル無線機搭載
水槽付消防ポンプ車	日 野	H19.1.26 220	GMいちほら 三段バランスタービン	〃
消 防 ポ ン プ 車	日野	H27.12.11 150ps	日本機械工業 AL3000	〃
救 急 車 ①	トヨタ	H27.12.9 151		〃
救 急 車 ②	トヨタ	H25.10.29 151		〃
指 令 車	トヨタ	H20.12.2 163		〃
電 源 照 明 車	日 野	H24.2.29 150		〃
防 災 活 動 車	トヨタ	H27.12.16 160ps		〃
資 材 搬 送 車	ダイハツ	H17.9.12 33		

(2)分遣所

(令和4年4月1日現在)

車 種	車名	購入年月日・馬力	ポ ン プ 種 別	備 考
水槽付消防ポンプ車	日 野	H22.3.25 220	日本機械工業 高圧バランスタービン	デジタル無線機搭載
救 急 車	トヨタ	H30.10.9 151		〃
積 込 車	ダイハツ	R2.12.17 39		〃

3 山林火災資機材置場

(令和4年4月1日現在)

建造年月日	構造及び階	面積㎡	建 設 地 番	施 設
H6.2.15	耐火1	35	新御堂1326-4(内ノ野)	山林火災用資機材倉庫

4 消防水利

(令和4年4月1日現在)

現在設置数	消 火 栓	防 火 水 槽						プ ール
		小 計	60t 以上	40～60t 未満	20～40t 未満	20t 未満	井戸式	
441 (268)	290 (182)	151 (83)	1 (1)	83 (83)	47	6	14	9 (9)

* ()内の数字は消防水利の基準に適合する設置数

5 特殊資機材配置一覧表

(令和4年4月1日現在)

区分	品名	配置場所			合計
		本署	分遣所	内ノ野	
一般救助用器具	ワイヤ梯子6号 8.5メートル	1			1
	救助マット	2			2
	救命索発射銃	1			1
	Vストラット	1			1
重量物排除用器具	ホルマトロ 油圧発生装置	1			1
	ホルマトロ スプレッダー	1			1
	ホルマトロ カッター	1			1
	ホルマトロ ラムシリンダー	1			1
	マット型空気ジャッキ	4			4
	可搬ウインチ(チルホール)	1	1		2
	救助用ブロック	1式			1式
	オグラ電動油圧救助器具	1式			1式
切断用器具	エンジンカッター	2	1		3
	チェンソー	4	1	1	6
	エアソー	1			1
破壊用器具	弁ケイ	3	2		5
	削岩機	1			1
測定用器具	マルチ型ガス検知器	1	1		2
	張力計	1			1
呼吸保護用器具	空気呼吸器一式	13	4		17
	空気ボンベ	44	12		56
隊員保護用器具	耐電手袋	9	3		12
救急教育用器具	レコーディング・レサシアン・ジュニア	1			1
	心肺蘇生法訓練用	12			12

区分	品名	配置場所			合計
		本署	分遣所	内ノ野	
水難救助用器具	救命浮環	5	1		6
	スバリ付深索棒	1			1
	救助ロープ投下袋	2			2
	救命胴衣(笛付)	20	5		25
	水中ライト	4			4
	水中用足ひれ(フィン)	6			6
	水中用手袋(グローブ)	6			6
	水中用シュノーケル・マスクセット	5			5
	救助ボート	2			2
	水中用ブーツ	4			4
	水難救助資材一式	4			4
山岳救助用器具	バスケット担架	2			2
	山岳救助資機材一式	1			1
	パーティカルストレッチャー	1			1
その他の救助用器具	発電機 EU6 4 EU9 3 EU16 1	6	2		8
	投光器一式(三脚・コードリール含)	4	1		5
	電源照明車(照明塔、LED450W×2)	1			1
山林火災用資器材	ジェットシューター	6	2	40	54
	ウォーターチャージャー	1		1	2
	アルミ製背負子			15	15
	林野火災用個人装備一式 内訳 (リュックサック・ナタ・ノコ・カマ・GISコップ 水筒・キャップライト・保護メガネ・ハーネス)			20組	20組
	可搬式送水装置 内訳 ポンプ(2)・エンジン(2)・ホース(20) 吸管(2)・ノズル(2)・組立水槽(4)	1式		1式	2式
	丸型組立水槽(1.0m ³)	1		1	2
	チェンソー	2	1	2	5
	動力刈払機	1		2	3
	双眼鏡	1		1	2
	携帯マイク			2	2
	ヘリ・タンク			2	2
	携帯用風向風速計			1	1
	吹き流し			1	1
	ウォーターチャージャー用延長ホース	3		3	6

6 車庫及び機材・資材置場

(令和4年4月1日現在)

分団	建造年月日	構造及び階	面積	建設地番	車両・施設
1	H13.11.26	市役所庁舎内		上町114番地(上町)	ポンプ車1台
	S53.3.31	耐火 1	6.00	浜平1838-1(俣江)	小型ポンプ1台
2	H19.12.21	耐火 1	73.72	中俣200-3 海潟12-2の一部	ポンプ車1台・小型ポンプ1台
	H6.6.8	木造 1	8.00	海潟1992-1(脇登)	小型ポンプ1台
3	H元.12.15	耐火 2	83.75	柗原715-5(並松)	ポンプ車1台・小型ポンプ1台
4	R2.3.30	耐火 1	75.00	本城461-1(上水之上)	ポンプ車1台
	S56.3.25	木造 1	6.60	高城789(上馬込)	小型ポンプ1台
5	S59.8.20	耐火 1	29.57	田神3688(大野原)	水槽付小型ポンプ積載車1台 小型ポンプ1台
	H23.3.20	木造 1	29.40	田神1228-40(垂桜)	ポンプ車1台・小型ポンプ1台
6	S54.3.31	耐火 1	53.37	新城3453(宇住庵)	ポンプ車1台・小型ポンプ1台
7	H16.10.14	耐火 1	73.74	牛根麓1139(牛根麓)	ポンプ車1台
	H23.12.14	木造 1	7.22	牛根麓1622-4(上ノ村)	小型ポンプ1台
8	H26.12.16	耐火 1	75.00	二川517-12	ポンプ車1台
	S46.11.11	耐火 1	5.00	牛根麓2716(中浜)	小型ポンプ1台
	S55.3.10	耐火 1	8.06	二川973-5(深港)	〃
9	H29.12.15	耐火 1	75.00	境1226番地1	ポンプ車1台・小型ポンプ1台
	S48.9.1	簡耐 1	5.70	二川1757(高野)	小型ポンプ1台

7 避難壕

(令和4年4月1日現在)

	場所	建造年月日	構造	面積
1	脇登	S54.1.31	鉄筋コンクリート造	10m ²
2	小浜	〃	〃	〃
3	早崎	H20.3.31	〃	21m ²
4	前崎	〃	〃	〃
5	居世神	S54.1.31	〃	10m ²

救急・救助



1 年別救急業務取扱状況

年 別	出 場 件 数	搬 送 件 数	搬 送 人 員 A	事故種別の内容(搬送人員)B											出勤率B/A		取 扱 人 員 人 口 比 率
				火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	交 通 事 故 %	急 病 %	
48	205(96)	187	215	3	0	1	85	5	3	20	1	3	91	3	40	42	114
49	215(98)	191	209	2	0	1	72	4	1	14	1	1	106	7	34	50	116
50	220(97)	192	217	0	0	1	78	4	1	23	3	5	88	14	36	41	113
51	297(107)	246	274	0	3	1	104	16	2	23	1	4	105	15	38	38	89
52	335(162)	291	311	1	0	3	92	7	3	31	2	5	132	35	27	39	78
53	315(141)	282	300	2	0	1	77	7	4	45	9	1	131	23	26	44	84
54	341(146)	302	319	0	0	0	94	8	3	40	9	3	135	27	25	43	78
55	420(197)	361	392	1	0	2	98	12	3	56	2	5	180	33	20	48	64
56	404(186)	357	380	2	0	0	91	8	5	36	4	1	194	39	24	51	65
57	449(183)	392	418	1	0	2	98	16	5	47	3	3	198	45	23	47	59
58	517(148)	458	487	0	0	0	109	15	6	57	3	3	241	53	22	49	49
59	410(145)	370	396	0	0	1	99	7	3	47	5	4	168	62	25	42	61
60	479(170)	425	449	4	1	1	82	6	6	40	5	5	212	87	18	47	52
61	469(163)	424	452	0	0	0	117	5	1	51	5	2	181	90	26	40	52
62	515(129)	471	487	1	2	2	101	8	3	59	4	7	201	99	21	41	47
63	502(120)	457	489	0	0	2	101	9	4	41	1	5	235	91	21	48	48
元	508(105)	469	491	0	5	0	102	4	3	44	2	8	233	90	21	47	44
2	530(109)	493	530	0	0	0	117	10	3	47	7	2	239	105	22	45	42
3	522(95)	487	505	3	0	0	86	8	4	45	4	4	255	96	17	50	44
4	489(100)	447	469	0	0	0	91	8	1	41	4	1	229	94	19	49	47
5	559(99)	521	551	1	5	0	102	8	4	56	1	3	269	102	19	49	39
6	499(71)	470	480	2	0	0	99	9	1	56	2	1	246	64	21	52	46
7	585(102)	557	581	2	0	0	117	5	3	61	2	2	304	85	20	52	37
8	560(106)	533	566	0	0	2	126	9	4	51	1	5	283	85	22	50	37
9	653(107)	611	642	5	0	1	111	12	2	61	3	5	339	103	17	53	32
10	599(107)	569	591	1	0	0	89	7	5	63	4	5	320	97	15	54	34
11	694(134)	663	686	0	0	3	88	7	4	69	4	6	401	104	13	58	30
12	666(102)	637	671	5	0	0	107	7	4	65	1	4	329	149	16	49	30
13	742(112)	698	748	2	0	1	145	8	2	81	2	6	378	128	19	51	27
14	775(104)	747	793	0	0	1	146	12	8	75	1	8	402	140	18	51	24
15	816(107)	786	814	1	0	0	88	7	10	91	2	8	426	181	11	52	24
16	836(198)	790	819	3	0	1	113	10	2	87	3	10	400	190	14	49	24
17	916(205)	885	909	2	0	4	99	9	4	91	3	10	494	193	11	54	21
18	899(144)	855	881	1	0	1	89	13	6	110	7	9	419	226	10	48	21
19	947(235)	902	927	0	0	1	115	8	3	104	3	1	438	254	12	47	20
20	970(176)	832	953	0	0	1	119	5	3	98	1	2	521	203	12	55	19
21	896(199)	839	866	0	0	9	99	5	3	104	0	3	431	212	11	50	20
22	885(123)	844	863	1	0	0	115	3	2	94	0	8	470	170	13	54	19
23	890(171)	832	858	0	0	0	109	7	1	92	0	2	473	174	13	55	19
24	935(217)	900	942	0	0	2	71	6	1	119	1	7	500	227	7	53	17
25	989(224)	941	954	2	0	2	82	8	1	108	1	6	541	203	8	56	17
26	1028(299)	984	996	0	0	2	93	5	6	108	3	1	553	225	9	55	16
27	920(278)	886	896	2	0	3	77	10	2	108	1	1	531	161	11	59	18
28	927(325)	898	912	0	0	0	57	6	3	145	0	1	510	190	6	55	17
29	1007(319)	965	978	0	0	0	77	8	1	118	2	0	573	199	8	59	16
30	1050(342)	1012	1035	0	0	1	94	6	2	138	3	3	611	177	9	59	14
元	999(341)	971	981	0	0	1	60	17	6	135	1	1	593	167	6	60	14
2	981(171)	948	956	0	0	0	59	7	10	150	0	0	545	185	6	60	14
3	919(384)	888	904	1	0	0	41	6	3	139	3	5	566	155	4	62	13

※出場件数欄の()内は市外搬送件数。(昭和48年～令和3年)

2 過去5年間の救急業務実施状況

令和3年中

年月	区分	全出場件数	搬送人員	出場件数の内訳											計
				火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
令和3年	1月	92	91	1	0	0	1	1	0	10	0	0	68	11	92
	2月	72	71	0	0	0	5	0	0	12	0	0	47	8	72
	3月	88	95	0	0	0	10	1	0	15	0	0	44	18	88
	4月	70	65	0	0	0	5	0	0	11	0	1	41	12	70
	5月	67	66	0	0	0	3	0	0	8	0	0	48	8	67
	6月	60	56	0	0	0	2	0	1	4	0	0	38	15	60
	7月	66	67	0	0	0	3	2	0	12	0	0	38	11	66
	8月	78	78	0	0	0	1	1	0	8	1	1	57	9	78
	9月	60	57	0	0	0	3	1	0	8	0	0	36	12	60
	10月	99	96	0	0	0	2	0	0	20	1	2	55	19	99
	11月	79	77	0	0	0	3	0	1	16	0	0	37	22	79
	12月	88	85	0	0	0	3	0	1	15	1	1	57	10	88
		計	919	904	1	0	0	41	6	3	139	3	5	566	155
	令和2年	981	956	1	0	0	55	7	9	154	0	3	565	187	981
	令和元年	999	981	0	0	4	56	17	6	135	1	1	611	168	999
	平成30年	1050	1035	0	0	1	75	6	2	138	3	8	636	181	1050
	平成29年	1007	978	0	0	1	65	9	1	123	4	2	596	206	1007

3 時間帯別・曜日別救急出場状況

(件)

令和3年中

	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
0:00~2:00	0	0	0	0	0	0	1	0	0	24	5	30
2:00~4:00	0	0	0	1	0	0	3	1	0	20	2	27
4:00~6:00	0	0	0	0	0	0	4	0	0	19	0	23
6:00~8:00	0	0	0	1	0	0	10	0	1	52	4	68
8:00~10:00	0	0	0	5	0	2	22	1	0	60	26	116
10:00~12:00	0	0	0	4	2	0	26	1	0	72	34	139
12:00~14:00	0	0	0	6	1	1	20	0	2	71	29	130
14:00~16:00	0	0	0	11	3	0	14	0	0	71	16	115
16:00~18:00	1	0	0	7	0	0	18	0	0	44	25	95
18:00~20:00	0	0	0	5	0	0	15	0	1	55	6	82
20:00~22:00	0	0	0	0	0	0	5	0	1	40	5	51
22:00~24:00	0	0	0	1	0	0	1	0	0	38	3	43
合計	1	0	0	41	6	3	139	3	5	566	155	919
月	0	0	0	6	0	0	17	0	1	86	20	130
火	0	0	0	6	1	0	29	1	0	89	31	157
水	1	0	0	6	0	0	17	1	0	78	33	136
木	0	0	0	2	3	1	18	0	1	93	20	138
金	0	0	0	4	0	0	28	0	1	91	21	145
土	0	0	0	0	2	0	14	0	0	58	21	95
日	0	0	0	17	0	2	16	1	2	71	9	118
合計	1	0	0	41	6	3	139	3	5	566	155	919

4 事故種別年齢分別搬送人員

令和3年中

(人)													
署所名	種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
	区分												
本署	新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳幼児	0	0	0	3	0	0	3	0	0	6	0	12
	少年	0	0	0	4	0	2	1	0	0	5	0	12
	成人	0	0	0	18	3	0	17	1	3	78	20	140
	高齢者	1	0	0	17	1	1	95	2	0	384	120	621
	計	1	0	0	42	4	3	116	3	3	473	140	785
分遣所	新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳幼児	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
	少年	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	5
	成人	0	0	0	5	0	0	0	0	2	11	1	19
	高齢者	0	0	0	4	2	0	16	0	0	64	7	93
	計	0	0	0	10	2	0	21	0	2	76	8	119
合計	新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳幼児	0	0	0	4	0	0	4	0	0	6	0	14
	少年	0	0	0	4	0	2	5	0	0	6	0	17
	成人	0	0	0	23	3	0	17	1	5	89	21	159
	高齢者	1	0	0	21	3	1	111	2	0	448	127	714
	計	1	0	0	52	6	3	137	3	5	549	148	904

新生児：生後28日以内

乳幼児：28日以上7歳未満

少年：7歳以上18歳未満

成人：18歳以上65歳未満 高齢者：65歳以上

5 被搬送者の疾病程度

令和3年中

(人)

署所名	種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
	区分												
本署	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	9
	重症	0	0	0	3	0	0	6	0	0	38	37	84
	中等症	0	0	0	17	4	1	83	1	2	362	103	573
	軽症	1	0	0	22	0	2	27	2	0	65	0	119
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		1	0	0	42	4	3	116	3	3	473	140
分遣所	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	重症	0	0	0	2	0	0	2	0	2	5	3	14
	中等症	0	0	0	2	1	0	16	0	0	55	5	79
	軽症	0	0	0	6	1	0	3	0	0	14	0	24
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		0	0	0	10	2	0	21	0	2	76	8
合計	死亡	0	0	0	3	0	0	1	0	0	16	0	20
	重症	0	0	0	10	2	0	10	0	0	38	64	124
	中等症	0	0	0	19	2	6	88	0	0	348	120	583
	軽症	0	0	0	27	3	4	51	0	0	143	1	229
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		1	0	0	52	6	3	137	3	5	549	148

重症：初診時で3週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症：入院加療が必要なもので重症にいたらないもの

軽症：入院加療の必要のないもの

6 現場到着所要時間別出場件数調

令和3年中

事故種別	現場到着		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	現場到着 最短所要時間 (分)	現場到着 最長所要時間 (分)	現場到着 平均所要時間 (分)
	3分未満	3分以上 5分未満									
急病	8	20	305	219	14	566	0	56	9.4		
交通事故	1	2	16	18	4	41	2	23	10.3		
一般負傷	3	9	80	42	5	139	2	28	8.7		
その他	5	38	113	15	2	173	2	24	6.4		
合計	17	69	514	294	25	919	0	56	8.8		

- (注) 1. 本表は、入電から現場到着までに要した時間区分ごとの件数を記載すること。
 2. 現場到着に要したそれぞれの最短・最長の各時間は、当該時間数(単位:分、整数)を記載すること。
 3. 現場到着に要した平均時間は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで記載すること。

55

7 収容所要時間別搬送人員調

令和3年中

事故種別	収容所要時間		10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		計	収容最短 所要時間	収容最長 所要時間	収容平均 所要時間
	10分未満	10分以上 20分未満	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内						
急病			2		77	2	355	58	113	99	2	2	549	161	19	163	46.9	
交通事故					3		24	8	24	24	1	1	52	33	25	132	63.3	
一般負傷			1		13		69	15	54	49			137	64	19	108	53.5	
その他			1		18		85	77	62	61			166	138	19	110	54.8	
合計	0	0	4	0	111	2	533	158	253	233	3	3	904	396	19	163	50.3	

- (注) 1. 本表は、救急隊の入電から、傷病者を医療機関等に収容した時までに要した時間区分ごとの搬送人員を記載すること。
 2. 搬送に要したそれぞれ最短・最長の各時間は、当該時間数(単位:分、整数)を記載すること。
 3. 搬送に要した平均時間は、少数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで記載すること。

8 救急隊員の行った応急処置状況

令和3年中

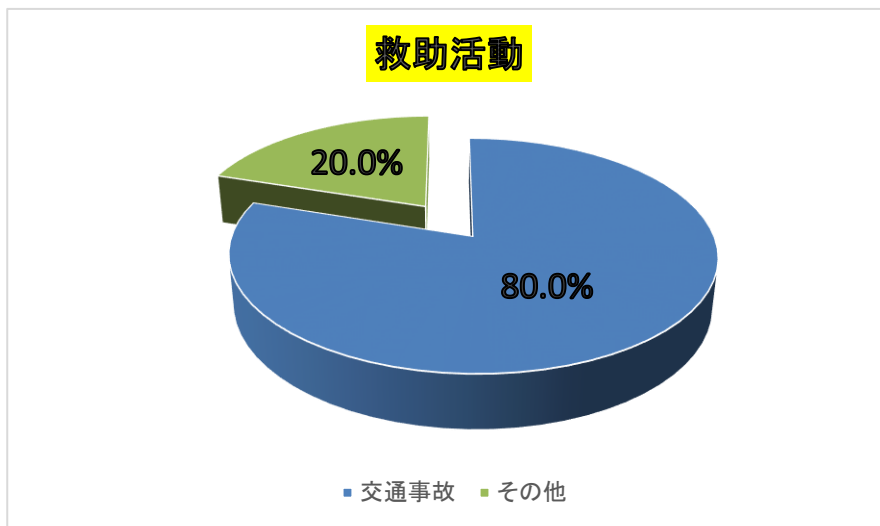
事故種別	応急処置										薬剤投与	その他	計
	止血	固定	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	除細動	特定行為				
									心肺停止前	心肺停止後			
火災	0	0	0	0		1	0	0	0	0	0	0	1
自然災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交通事故	5	29	0	12	0	10	6	0	0	0	0	52	114
労働災害	1	1	0	1	0	1	3	0	0	0	0	6	13
運動競技	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6
一般負傷	27	51	0	16	0	35	21	0	0	0	0	137	287
加害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
自損行為	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1	5	10
急病	2	10	11	179	4	130	4	3	4	9	12	549	917
その他	1	7	0	47	0	33	1	0	0	0	0	148	237
計	36	101	12	256	4	211	35	3	4	10	13	903	1588

9 救助活動

出場件数の総数は5件（前年10件）で、事故種別で見ると交通事故4件、水難事故0件、自然災害0件、その他が1件となっている。

令和3年中

交通事故	水難事故	機械事故	火災	一般負傷	自然災害	その他	合計
4	0	0	0	0	0	1	5

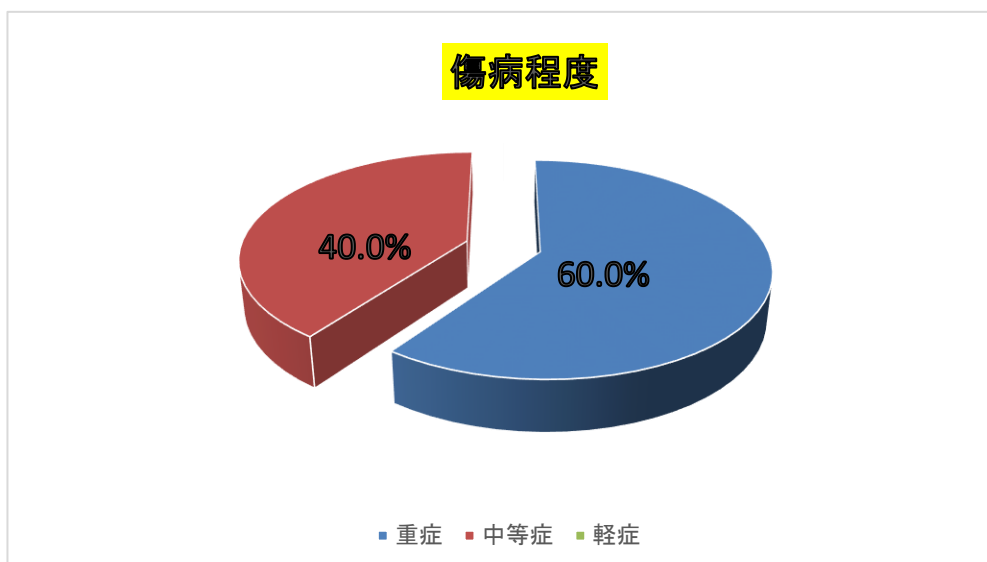


傷病程度割合

救助件数5件中、多数傷病者であった活動は0件あり、総要救助者総数は5名となっている。

令和3年中

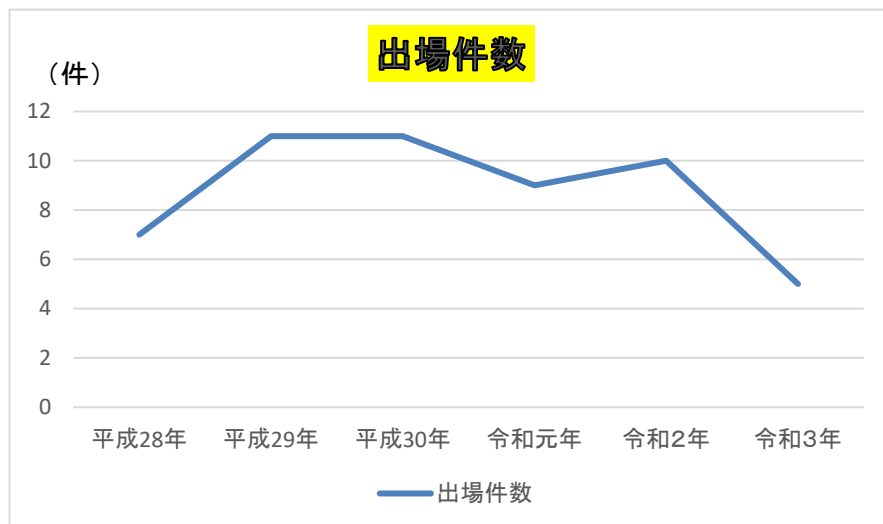
死亡	重症	中等症	軽症	不搬送	合計
0	3	2	0	0	5



年度別出場状況

令和3年中

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
出場件数	7	11	11	9	10	5
活動件数	7	10	6	6	9	4
救助人員	8	13	6	6	10	5



火 災



1 年別火災発生状況

損害額(単位 千円)
 焼面積(建物㎡・林野アール)

年 別	件 数	火災種別					建 物					林 野		車輛	船舶	その他	合計
		建 物	林 野	車 輛	船 舶	そ の 他	焼 面 積	損 害 額	棟 数	世 帯 数	人 数	焼 面 積	損 害 額	損 害 額	損 害 額	損 害 額	損 害 額
41	17	7	5	2		3		863	9	5	22	216	142	19		33	1,057
42	14	7	5	2			324	4,169	10	3	9	130	20	45			4,234
43	18	8	5			5	234	2,508	12	7	37	32	123			4	2,635
44	10	6	2	1		1	225	1,239				131	61	1,000			2,300
45	17	12	4			1	1,037	10,436	30	17	49	56	52				10,488
46	19	7	10	1	1		248	3,575	8	5	16	546	1,891	300	1,900		7,666
47	12	10	2				299	1,970	12	7	24	920	1,152				3,122
48	11	6		4		1	957	19,776	25	6	21			175		10	19,961
49	11	9	2				1,130	29,956	26	18	51	20	5				29,961
50	6	3	3				334	4,811	9	6	13	126	376				5,187
51	13	7	4	2			399	9,721	10	7	20	49	105	16			9,842
52	16	9	2	1		4	505	18,412	13	6	11	10		10		80	18,502
53	16	6	6	2	1	1	415	19,618	17	13	44	18	25	370	12,000		32,013
54	9	2	1	2		4	278	2,321	4	2	6	1	15	960		400	3,696
55	9	8	1				506	24,474	14	7	24	1	1				24,475
56	9	6	2	1			472	17,420	8	5	14	92	666	550			18,636
57	16	10	1			5	459	25,115	13	12	31	2				42	25,157
58	16	12	1		1	2	490	10,549	19	8	35	4	26		1,270	10	11,855
59	10	6	1			3	124	3,131	10	6	10	1				1,000	4,131
60	13	13					4,183	662,553	20	9	22					8	662,561
61	8	7	1				134	5,546	13	8	24						5,546
62	16	12	1	3			110	3,191	13	9	35	2		368			3,559
63	11	10				1	474	11,574	15	9	23						11,574
元	13	10		1		2	549	21,656	10	7	11			5		1	21,662
2	12	10		2			108	32,507	12	11	33			270			32,777
3	18	13	1			4	1,379	18,802	17	12	30	4	20				18,822
4	7	5	1	1			116	2,147	5	3	15	60		2			2,149
5	11	6		2		3	26	120	6	4	7			20		1	141
6	26	6	2	1		17	437	9,274	12	5	22	15	25	10		775	10,084
7	15	7		1		7	908	28,646	15	10	30			1,270			29,916
8	12	8	1			3	457	16,212	13	4	11	22					16,212
9	19	4	2	1		12	505	18,560	12	7	20	62	609	2,520			21,689
10	11	4		1		6	359	6,972	6	2	5			70		360	7,402
11	15	8		1		6	140	4,197	13	8	24			100			4,297
12	16	5		2		9	152	10,862	5	4	9			1,050			11,912
13	16	7		2		7	184	8,157	8	5	11			1,048			9,205
14	19	7		1	1	10	21	453	8	2	7			100	300		853
15	25	10				15	95	3,879	9	9	21					10	3,889
16	33	13		2		18	466	40,854	8	8	21			1500		40	42,394
17	21	9		1		11	549	19,284	13	10	22			10		25	19,319
18	21	7	1	1		12	1,216	35,340	8	4	10	2		600		404	36,344
19	21	8		3		10	580	46,345	15	10	22			60			46,405
20	13	6				7	504	24,011	8	5	13					14	24,025
21	27	7		2	1	17	242	18,031	9	7	22			600	100	17	18,748
22	11	8		2		1	1,267	41,342	15	7	14			2899			44,241
23	10	5				5	436	5,090	7	5	8					7	5,097
24	10	5		1		4	403	19,339	8	6	10					18	19,357
25	13	8		2		3	701	41,700	18	8	15			100		90	41,890
26	6	2		1		3	920	31,740	3	0	0			5		200	31,945
27	6	3		1		2	267	10,336	4	2	3			10		20	10,366
28	12	4				8	390	22,327	6	3	5						22,327
29	6	1		1		4	1	2	1	1	1			2,533			2,535
30	6	3	1	1		1	1,067	26,966	4	1	2	300	350	689			28,005
元	5	2		2		1	100	6,727	3	1	1			205			6,932
2	5	1		1		3	42	1,676	1	1	1			150			1,826
3	8	1		1		6	15	140	1					105			245

2 過去5年間の原因別火災件数

原因別 \ 年別	29年	30年	元年	2年	3年
たばこ				1	
たき火	3	2	1	2	5
火あそび					
こんろ					
放火					
風呂かまど	1	1			
ストーブ					
放火の疑い					
マッチ・ライター					1
煙火					
煙突・煙道					
電気			1		
機関内配線				1	
線香					
溶接機					
その他	1	2	2		1
不明・調査中	1	1	1	1	1
計	6	6	5	5	8

3 令和3年中火災発生状況

番号	月 日	種 別	原 因	棟 数				焼失㎡ 面積 a	焼損数	損害額 (千円)	覚 知 別
				全	半	部	ぼや				
1	1月20日	建物	たき火	1				15	1棟	140	携帯119
2	4月7日	その他	たき火の火の粉					1800			携帯119
3	4月11日	その他	たき火					800			固定119
4	4月22日	その他	たき火					980			携帯119
5	7月23日	車両	火のついた紙							105	携帯加入
6	10月1日	その他	ライター					66			携帯119
7	12月2日	その他	不明					112			携帯119
8	12月20日	その他	たき火					2916			携帯119

4 垂水市における主な建物火災

出火年月日	棟数	焼失面積(㎡)	損害額(千)	発生場所	原因
昭和27年9月24日	38	1,462	9,940	垂水市海潟温泉場	子供の火遊び
昭和30年11月5日	18		19,880	〃	不明
昭和32年1月31日	40	3,170	72,009	市役所付近	〃
昭和35年10月14日	5	337	2,800	今川原付近	〃
昭和35年10月26日	7	290	2,024	〃	〃
昭和36年10月26日	3	178	1,275	海潟温泉場	〃
昭和45年1月15日	12	523	3,981	野久妻	ローソク
昭和48年11月16日	14	409	12,967	柗原下	取灰
昭和49年11月14日	16	736	23,770	牛根境(下境)	タバコ
昭和50年11月25日	7	301	4,646	柗原(みのるストア付近)	不明
昭和52年6月1日	5	394	16,568	新城(大都)	風呂かまど
昭和53年5月30日	8	236	14,091	牛根境(中園)	ローソク
昭和60年5月23日	3	3,485	627,585	本城字星原(理喜)	不明
平成18年5月3日	2	907	21,934	田神1228-3(駒ヶ丘)	溶接器
平成19年12月22日	8	368	42,235	牛根境(下境)	石油ストーブ
平成22年12月21日	1	957	15,530	田神1228(駒ヶ丘)	溶接器
平成24年9月18日	5	312	11,850	下市木2区	タバコ
平成25年2月2日	7	262	23,590	浜平(芝原)	石油ストーブ
平成26年9月7日	2	920	31,740	田神1228-742(駒ヶ丘)	溶接器
平成27年2月15日	1	77.82	3,950	海潟(飛岡)	タバコ
平成28年2月20日	2	63.53	9,377	柗原(新生)	不明
平成30年12月2日	2	1,106	25,984	田神1228-17(駒ヶ丘)	ガスファンヒーター
平成30年12月3日	2	1,106	25,984	田神1228-18(駒ヶ丘)	ガスファンヒーター
令和1年9月20日	1	3	33	二川(高野)	不明
令和1年10月7日	1	68	2,408	市木(中元垂水)	ハンドトーチ
令和2年3月15日	1	42	1,676	浜平(錦町)	不明

5 自主防火団体

幼年消防クラブ

幼年期における防火のしつけ及び防火思想の教育等を図ることを目的として幼稚園・保育園の園児等を対象に結成された組織である。

(令和4年4月1日現在)

クラブ名称	結成年月日	クラブ員数
和光幼年消防クラブ	昭和 6 2 年 4 月 1 日	16
慈恩保育園消防クラブ	昭和 6 3 年 4 月 1 日	22
水之上保育園幼年消防クラブ	平成 元 年 4 月 1 日	26
さざなみ保育園幼年消防クラブ	平成 元 年 4 月 1 日	33
垂水カトリック幼稚園幼年消防クラブ	平成 1 0 年 7 月 1 日	17
新城保育園幼年消防クラブ	平成 2 8 年 4 月 1 日	17
江ノ島幼稚園幼年消防クラブ	令和 3 年 1 0 月 1 日	22



(令和 3 年度幼年消防フェスタ)

火 災



2 危険物施設数

(令和4年4月1日現在)

数量の別 施設の区分	貯 蔵 所							取 扱 所			計					
	屋内貯蔵所	屋外タンク	貯蔵所	屋内タンク	貯蔵所	地下タンク	貯蔵所	簡易タンク	貯蔵所	移動タンク		貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所 (第一種)	一般取扱所
5 倍 以 下		1			26				8						3	38
5 倍 を こ え 1 0 倍 以 下		2			5				1				3		2	13
1 0 倍 こ え 5 0 倍 以 下		5			2				2				3			12
5 0 倍 を こ え 1 0 0 倍 以 下													4			4
1 0 0 倍 を こ え 1 5 0 倍 以 下													3			3
1 5 0 倍 を こ え 2 0 0 倍 以 下													4			4
2 0 0 倍 を こ え 1 0 0 0 倍 以 下																0
計	0	8	0		33	0			11		0		17	0	5	74

3 建築同意事務処理状況

(令和3年度)

申請要旨	同 意		小 計	件 不 同 意 数	不 同 意 の 理 由				総 計
	指 導 無 し	指 導 有 り			構 造	設 備	避 難	そ の 他	
新 築	13		13						13
増 築	2		2						2
改 修									0
移 転									0
修 繕									0
模様替え									0
用途変更									0
その他									0
合 計	15	0	15	0	0	0	0	0	15

1 防火対象物現況

(令和4年4月1日現在)

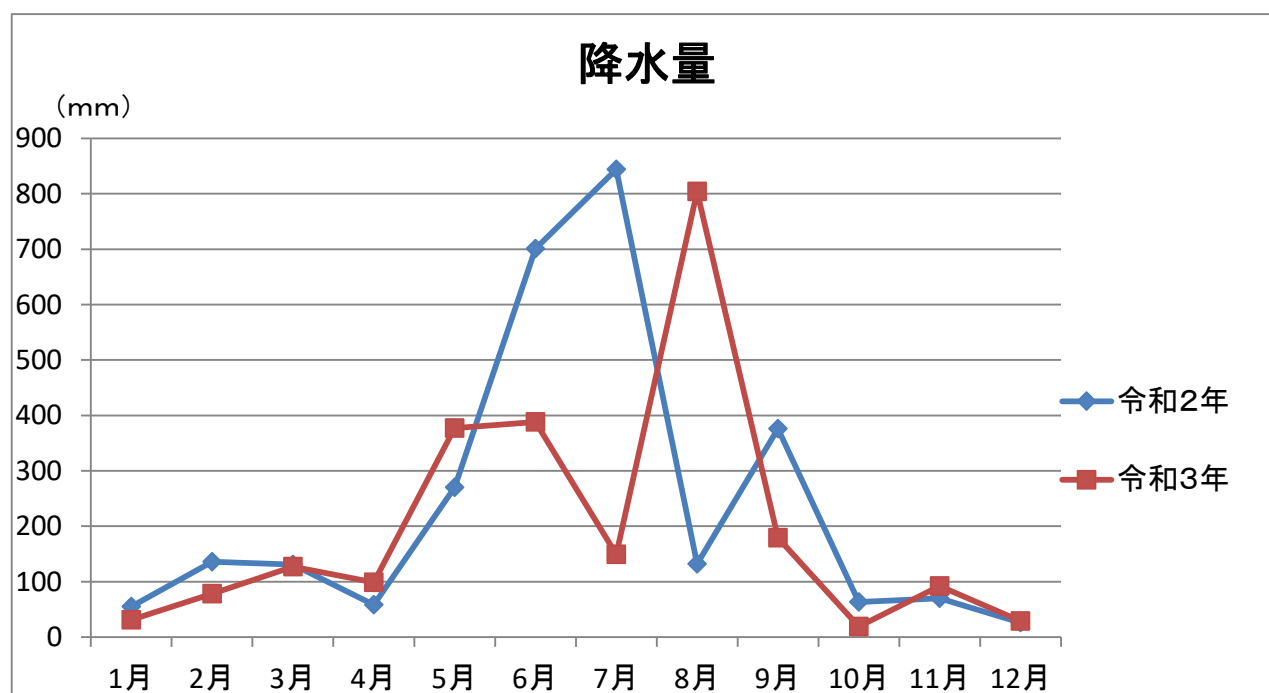
防火対象物		小計	計	
(一)	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	4	17	
	ロ 公会堂又は集会場	13		
(二)	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類	0	2	
	ロ 遊技場又はダンスホール	2		
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等	0		
	ニ カラオケボックス等	0		
(三)	イ 待合、料理店の類	0	16	
	ロ 飲食店	16		
(四)	百貨店、マーケット、物品販売業を営む店舗又は展示場	30	30	
(五)	イ 旅館、ホテル、宿泊所の類	9	89	
	ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	80		
(六)	イ 病院、診療所又は助産所	(1)	1	6
		(2)	0	
		(3)	1	
		(4)	4	
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム等	(1)	16	17
		(2)	0	
		(3)	0	
		(4)	0	
		(5)	1	
	ハ 老人デイサービスセンター等	(1)	2	16
		(2)	0	
		(3)	8	
		(4)	0	
		(5)	6	
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	1	1	
	(七)	小・中・高等学校、高等専門学校、各種の学校の類	29	29
(八)	図書館、博物館、美術館の類	1	1	
(九)	イ 公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類	0	4	
	ロ イ以外の公衆浴場	4		
(十)	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	1	1	
(十一)	神社、寺院、教会の類	9	9	
(十二)	イ 工場又は作業場	58	58	
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ	0		
(十三)	イ 自動車車庫又は駐車場	8	8	
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫	0		
(十四)	倉庫	45	45	
(十五)	前各項に該当しない事業場	219	219	
(十六)	イ 複合用途防火対象物のうち、その一部が(一)～(四)、(五)イ、(六)又は(九)イの防火対象物の用途に供されているもの	35	50	
	ロ イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	15		
16の2	地下街	0	0	
16の3	準地下街	0	0	
(十七)	文化財保護法により認定された重要文化財	0	0	
(十八)	延長50m以上のアーケード	0	0	
(十九)	市町村の指定する山林	0	0	
(二十)	総務省令で定める舟車	0	0	
合計		618	618	

氣 象



1 年間降水量

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総雨量
令和2年	55	136	131	58	270	701	844	132	376	63	70	26	2,862
令和3年	31	78	127	99	377	388	149	804	179	19	92	29	2,372



2 気象(令和3年中)

種別	気温 (°C)			湿度 (%)			風速 (m/s)	
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高
1	12	19	2	54	100	23	4	10
2	13	19	1	54	99	21	4	12
3	16	22	2	61	99	30	3	13
4	19	24	14	54	99	15	4	13
5	22	26	17	72	98	31	3	11
6	25	29	19	71	100	31	2	6
7	28	31	19	72	100	48	3	7
8	27	32	21	71	100	25	3	7
9	25	29	19	63	100	45	3	5
10	22	31	15	59	90	38	3	7
11	16	24	9	60	96	25	3	9
12	12	18	4	52	100	27	4	10

※消防署内での測定のため参考扱い

通 信



1 無線局配置状況

(1) 消防本部

無線局種別	設置場所	呼出し名称	取込み周波数			
			活動波1	活動波2	主運用波	統制波(1~3)
固定局	通信指令室	たじゅうほんぶ				
卓上型移動局	通信指令室	たるしょうほんぶ	○	○	○	○
車載型移動局	タンク2号車	しょうぼうたるみず1	○	○	○	○
	指令車	しょうぼうたるみず2	○	○	○	○
	電源照明車	しょうぼうたるみず3	○	○	○	○
	ポンプ車	しょうぼうたるみず4	○	○	○	○
	防災活動車	しょうぼうたるみず5	○	○	○	○
	タンク1号車	しょうぼうたるみず6	○	○	○	○
	救急1号車	きゅうきゅうたるみず1	○	○	○	○
	救急2号車	きゅうきゅうたるみず2	○	○	○	○
携帯型移動局	消防本部及び 消防署	しょうぼうたるみず11	○	○	○	○
		しょうぼうたるみず12	○	○	○	○
		しょうぼうたるみず13	○	○	○	○
		しょうぼうたるみず14	○	○	○	○
		しょうぼうたるみず15	○	○	○	○
		しょうぼうたるみず16	○	○	○	○
		きゅうきゅうたるみず11	○	○	○	○
		きゅうきゅうたるみず12	○	○	○	○

(2) 牛根分遣所

無線局種別	設置場所	呼出し名称	取込み周波数			
			活動波1	活動波2	主運用波	統制波(1~3)
基地局	通信指令室	しょうぼううしね	○	○		
卓上型移動局	通信指令室	たるしょううしね	○	○	○	○
車載型移動局	タンク車	しょうぼううしね1	○	○	○	○
	積込車	しょうぼううしね2	○	○	○	○
	救急車	きゅうきゅううしね1	○	○	○	○
携帯型移動局	牛根分遣所	しょうぼううしね11	○	○	○	○
		しょうぼううしね12	○	○	○	○
		きゅうきゅううしね11	○	○	○	○

(3) 清掃センター基地局

無線局種別	設置場所	呼出し名称	取込み周波数			
			活動波1	活動波2	主運用波	統制波(1~3)
基地局	局舎	しょうぼうたるみず	○	○		
固定局	局舎	たじゅうせいそう				

(4) 新城基地局

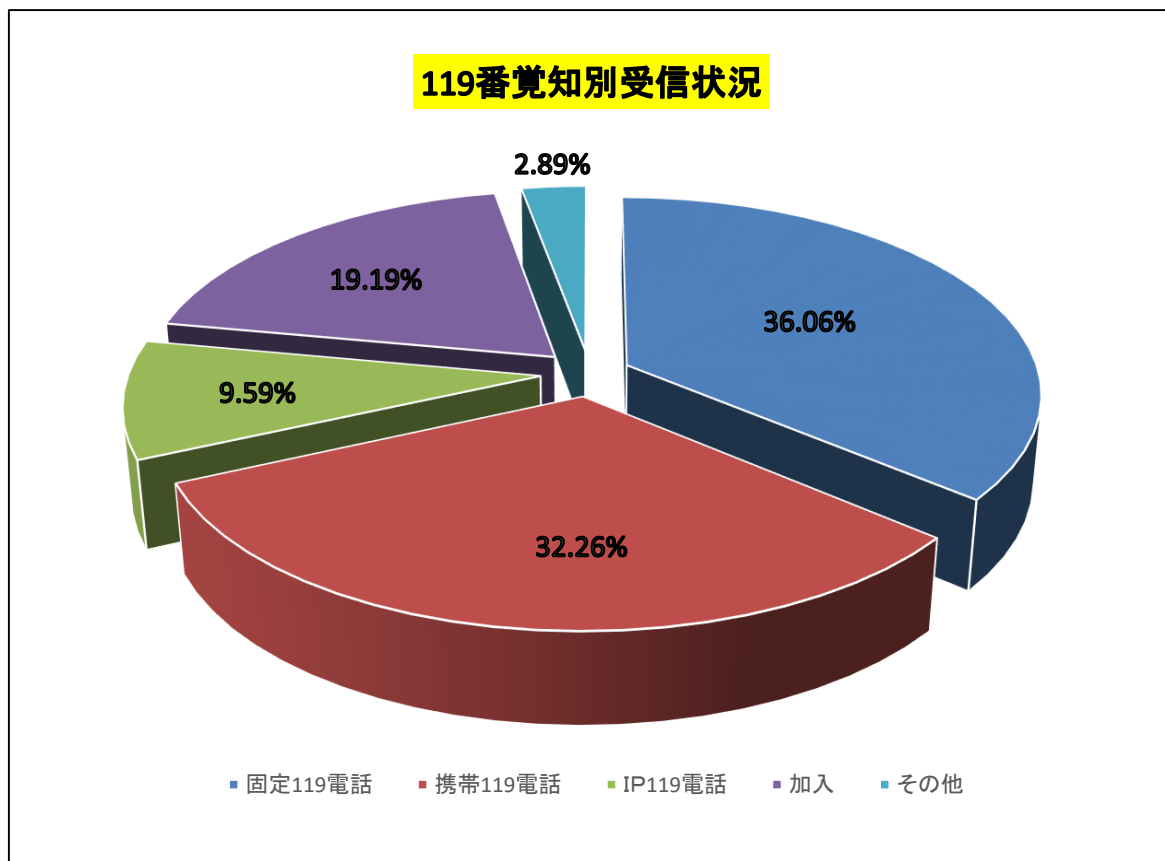
無線局種別	設置場所	呼出し名称	取込み周波数			
			活動波1	活動波2	主運用波	統制波(1~3)
基地局	局舎	しょうぼうしんじょう	○	○		

2 緊急通報内容

(1) 緊急通報覚知別受信状況

令和3年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
固定119電話	39	41	58	24	39	34	26	29	25	29	43	49	436
携帯119電話	34	35	35	33	22	24	29	33	35	46	28	36	390
I P 119電話	6	12	7	9	12	7	8	8	9	12	11	15	116
加入	34	14	21	15	11	17	18	19	12	25	27	19	232
その他	6	2	5	4	0	2	2	1	1	4	6	2	35
合計	113	102	121	81	84	82	81	89	81	116	109	119	1178

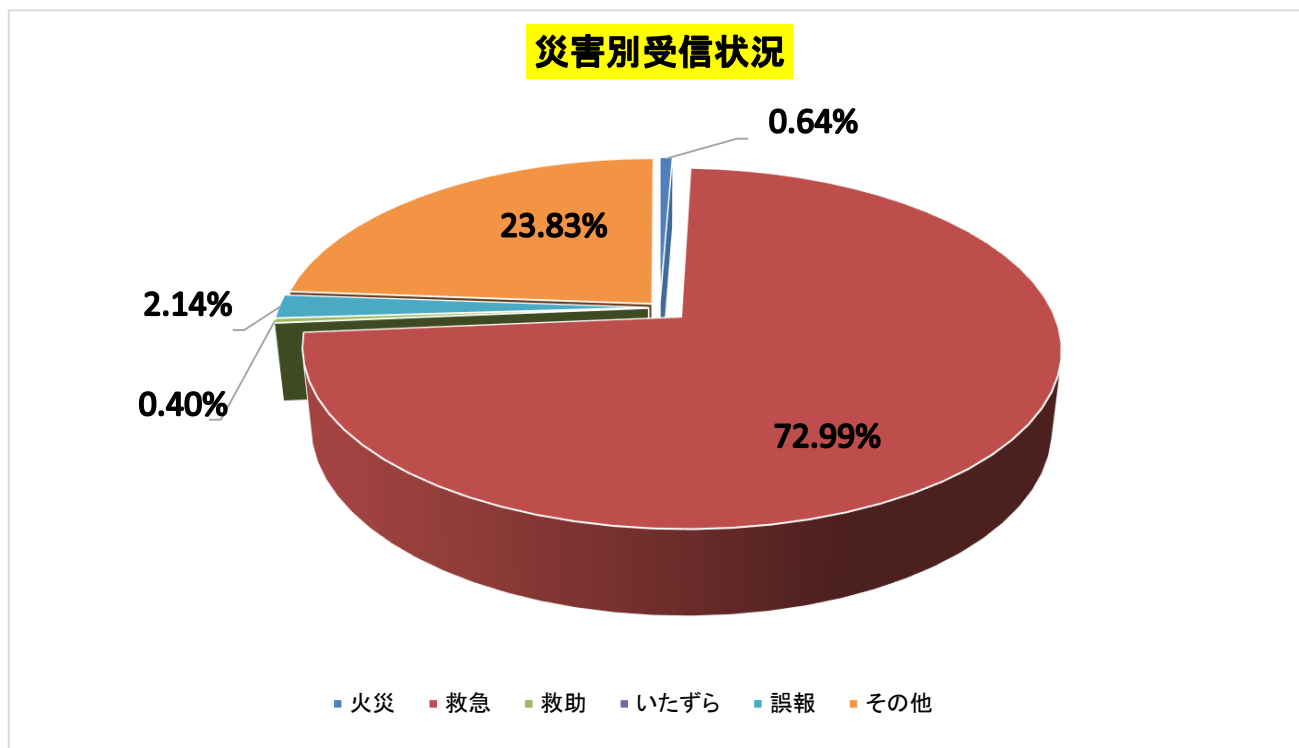


※その他～駆けつけ、自己覚知、公衆電話等

(2) 災害別 受信状況

令和3年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	1	0	0	3	0	0	1	0	0	1	0	2	8
救急	92	72	88	70	67	60	66	78	60	99	79	88	919
救助	0	1	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	5
いたずら	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤報	1	1	3	4	1	2	0	1	5	3	3	3	27
その他	27	33	37	13	20	23	23	12	22	17	36	37	300
合計	121	107	130	90	88	85	90	92	87	121	118	130	1259



令和3年中における緊急通報の受信総件数は、1259件で1日約3.4件となり、前年の1278件に比べ19件の減少となっています。

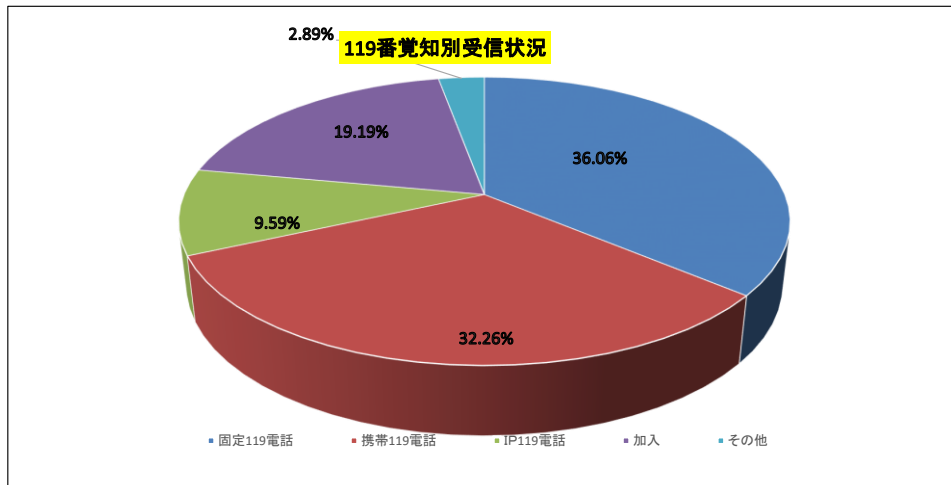
災害通報は、火災が8件、救急が919件で全体の約74%を占めています。また、誤報、いたずら等の目的外通信が27件で約2%となっております。

2 緊急通報内容

(1) 緊急通報覚知別受信状況

令和3年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
固定119電	39	41	58	24	39	34	26	29	25	29	43	49	436
携帯119電	34	35	35	33	22	24	29	33	35	46	28	36	390
P119電	6	12	7	9	12	7	8	8	9	12	11	15	116
加入	34	14	21	15	11	17	18	19	12	25	27	19	232
その他	6	2	5	4	0	2	2	1	1	4	6	2	35
合計	113	102	121	81	84	82	81	89	81	116	109	119	1178

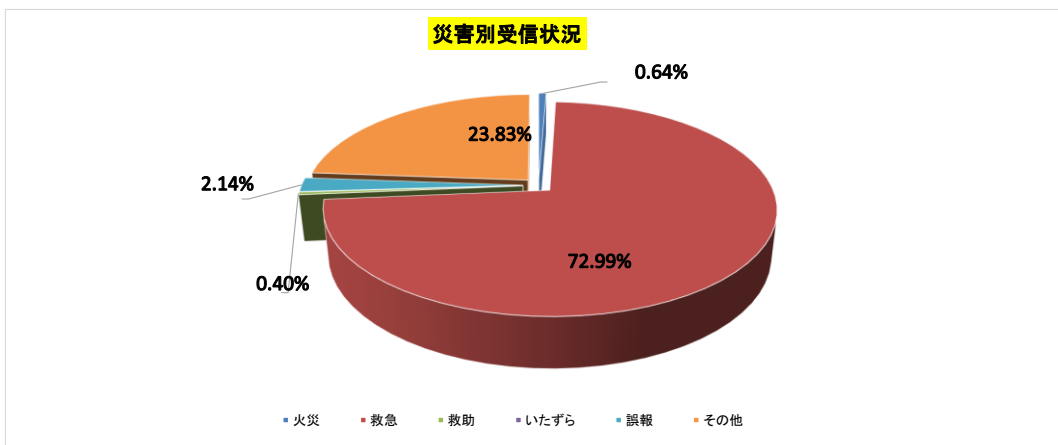


※その他～駆けつけ、自己覚知、公衆電話等

(2) 災害別 受信状況

令和3年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	1	0	0	3	0	0	1	0	0	1	0	2	8
救急	92	72	88	70	67	60	66	78	60	99	79	88	919
救助	0	1	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	5
いたずら	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤報	1	1	3	4	1	2	0	1	5	3	3	3	27
その他	27	33	37	13	20	23	23	12	22	17	36	37	300
合計	121	107	130	90	88	85	90	92	87	121	118	130	1259



令和3年中における緊急通報の受信総件数は、1259件で1日約3.4件となり、前年の1278件に比べ19件の減少となっています。

災害通報は、火災が8件、救急が919件で全体の約74%を占めています。また、誤報、いたずら等の目的外通信が27件で約2%となっております。

消 防 団



1 歴代消防組頭・警防団長・消防団長

(令和3年4月1日現在)

代	氏名	期 間		備 考
		自	至	
1	櫛山亮則	大正9年7月6日	昭和14年5月25日	鹿児島県消防議会委員
2	川畑孝市	昭和14年5月25日	昭和26年9月30日	鹿児島県消防協会理事
3	寺田藤吉	昭和26年10月1日	昭和34年3月31日	
4	宮原剛	昭和34年4月1日	昭和38年3月31日	
5	東賢吉	昭和38年4月1日	昭和41年2月10日	
6	浜畑熊則	昭和41年2月11日	昭和46年3月31日	鹿児島県消防協会常議員
7	鵜飼直忠	昭和46年4月1日	昭和50年2月3日	2月4日～4月14日団長不在
8	松山一男	昭和50年4月15日	昭和58年5月22日	鹿児島県消防協会理事 (S55. 4. 1～S57. 3. 31)
9	池松秋男	昭和58年5月23日	平成3年5月25日	鹿児島県消防協会常議員
10	井川直行	平成3年5月25日	平成7年4月30日	鹿児島県消防協会常議員
11	森山政幸	平成7年5月1日	平成19年3月31日	鹿児島県消防協会常議員
12	川畑安正	平成19年4月1日	在 任 中	鹿児島県消防協会常議員

2 垂水市消防団の出動区分

(1) 第1次出動

(ア) 地元分団 消防車両及び小型動力ポンプ

(イ) 連絡 地元サイレン吹鳴

(2) 第2次出動

(ア) 応援出動を命じた分団の消防車両

(イ) 連絡 応援分団に対しては、電話、その他の方法で連絡応援分団のサイレンの吹鳴

(3) 第3次出動

(ア) 全分団の消防車両並びに小型動力ポンプ隣接市町村応援消防隊

(イ) 連絡 電話等及びサイレン吹鳴

3 災害時消防団配置

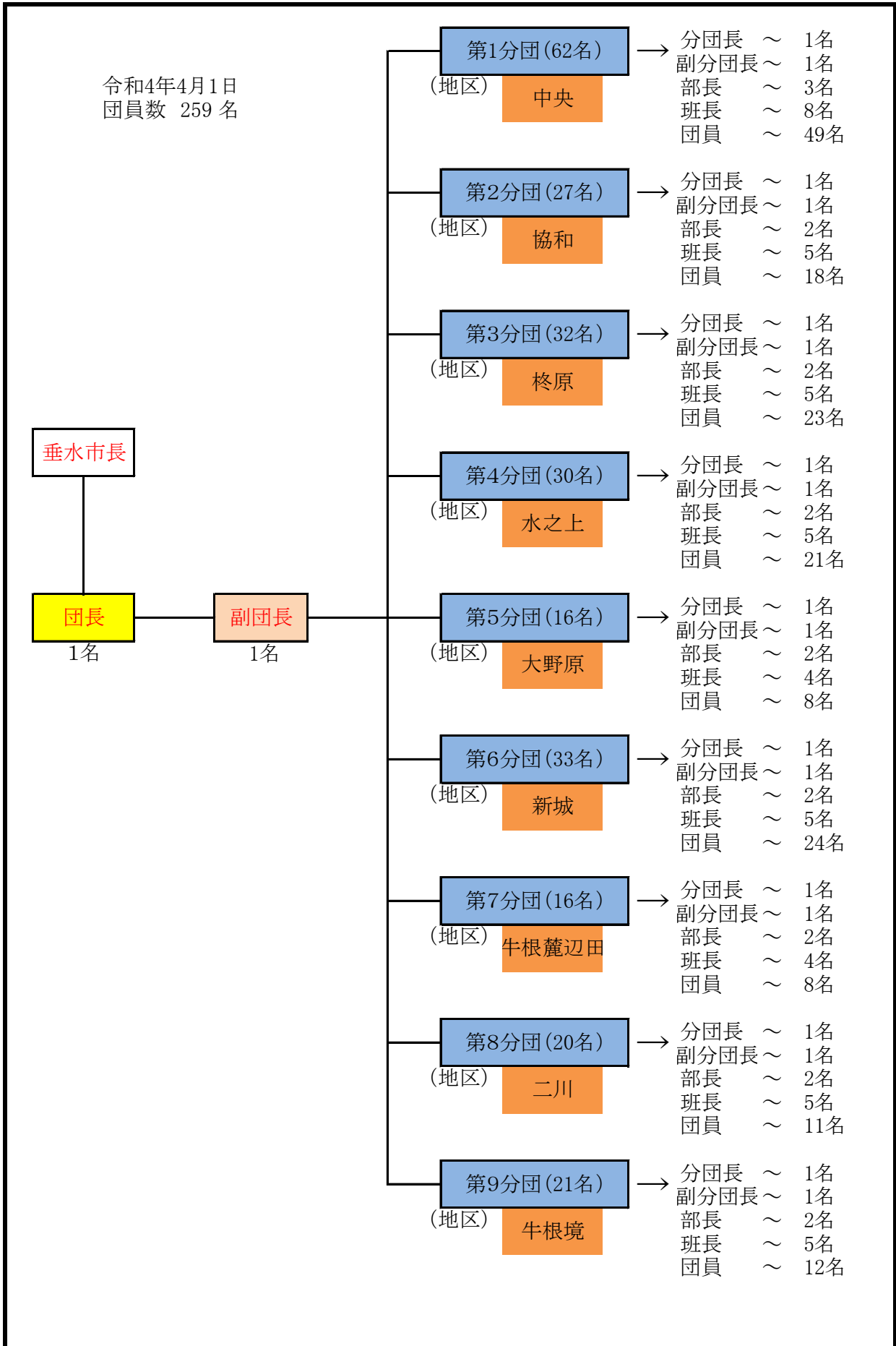
一次配備 団長・副団長 地元分団待機

二次配備 団長・副団長 消防本部待機

(令和4年4月1日現在)

					一次配備	二次配備	三次配備
分団名	定員	現団員数	部長以上	班長	正・副機関員 部長以上	一次に班長	全団員
1分団	70	62	5	8	7	15	全団員
2分団	34	27	4	5	6	11	〃
3分団	31	32	4	5	6	11	〃
4分団	32	30	4	5	6	11	〃
5分団	21	16	4	4	6	10	〃
6分団	36	33	4	5	6	11	〃
7分団	25	16	4	4	6	10	〃
8分団	30	20	4	5	6	11	〃
9分団	30	21	4	5	6	11	〃

4 垂水市消防団編成表



5 分団別消防ポンプ自動車

(令和4年4月1日現在)

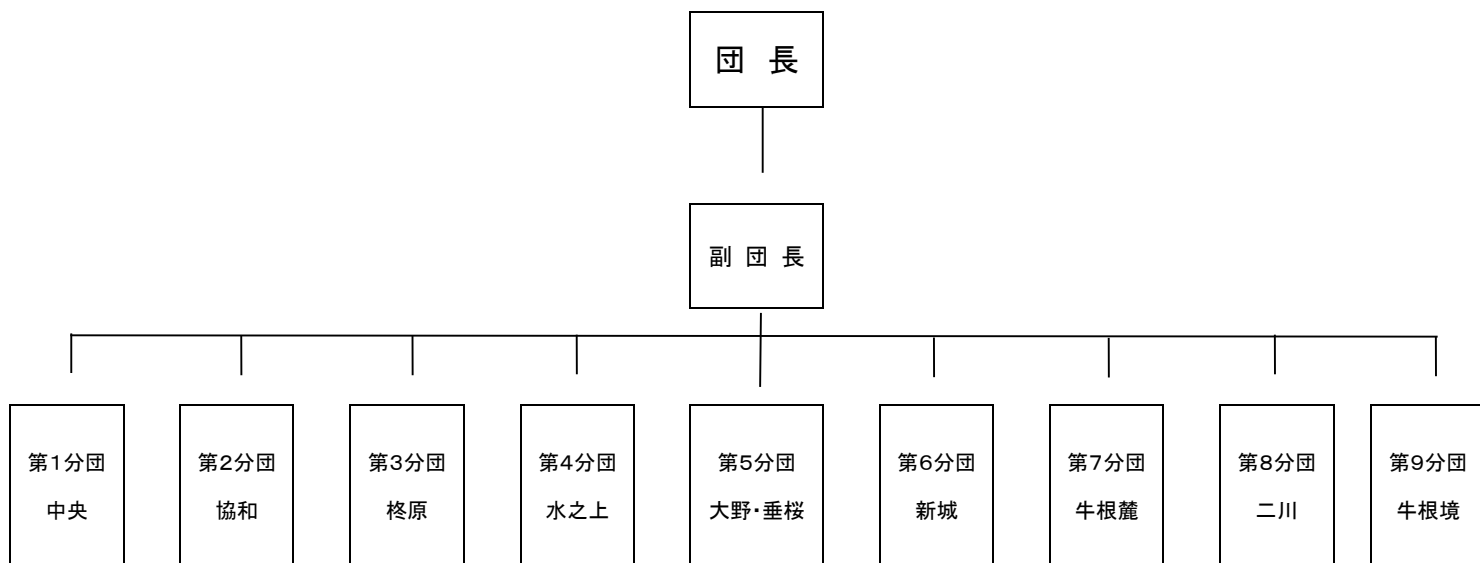
分団名	車種	購入年月日 年 式 馬力×気筒	ポンプ種類 製作所	ポンプ 級別	積 載 ホ ー ス	吸 管 の 種 類	梯 子 の 種 類	照 明 器 具	車 輛 重 量 (kg)	全 長 (cm)	全 高 全 幅 (cm)	消 火 器 20 型	噴 霧 ノ ズ ル
第一分団	日野	H24. 11. 21 H24年式 150×4	GMいちばら 高圧バランス タービン イズミ	A2		軽量 Φ75 × 10M	二段 折 たたみ 3. 6m	作業 灯 50W	3,900	527	243 188	1	2
第二分団	日野	H27.2.27 H27年式 150×4	高圧2段 バランス タービン 日機	A2	10	"	" 3. 6m	"	4,350	547	250 188	1	2
第三分団	日野	H20.10.27 H20年式 150×4	高圧2段 バランス タービン 森田	A2		軽量 Φ75 × 10M	" 3. 6m	"	3,730	525	250 188	1	2
第四分団	日野	H23. 3. 10 H23年式 150×4	高圧2段 バランス タービン 日機	A2	18	"	"	"	3,820	525	256 188	1	4
(第五分団) 大野	トヨタ	H28. 11. 22 H28年式	水槽付小型 ポンプ 積載車	-	20	Φ7 5 × 8M	アルミ 製 伸縮型 3. 5m	"	4,220	553	261 190	1	2
(第五分団) 垂桜	日産	H4.11.10 H4年式 135×4	高圧2段 バランス タービン 小川	A2	20	"	" 3. 6m	"	3,060	550	235 183	1	2
第六分団	日野	H26. 11. 5 H26年式 150×4	高圧2段 バランス タービン 日機	A2		軽量 Φ75 × 10M	" 3. 6m	"	3,890	532	254 188	1	4
第七分団	日野	H25. 11. 14 H25年式 125×4	インデュー サー付1段ポ リュートポン プ アルミポン プ 森田	A2	20	軽量 Φ75 × 10M	" 3. 6m	"	3,770	530	247 188	1	2
第八分団	日野	H24. 11. 21 H24年式 150×4	GMいちばら 高圧バランス タービン イズミ	A2		軽量 Φ75 × 8M	" 3. 6m	"	3,900	527	243 188	1	2
第九分団	日野	H23. 3. 8 H23年式 150×4	高圧2段 バランス タービン 日機	A2	20	軽量 Φ75 × 10M	" 3. 6m	"	3,820	525	256 188	1	4

6 分団別小型動力ポンプ

(令和4年4月1日現在)

分団	設置場所	年式	会社名	購入年月日	馬力
1	浜平	H25	トーハツ	平成25年7月16日	30
2	車庫	H15	シバウラ	平成15年12月8日	43
	脇登	H26	ラビット	平成26年11月14日	32
3	車庫	R3	トーハツ	令和3年9月17日	29
4	馬込	H13	トーハツ	平成13年8月3日	40
5	大野	H28	トーハツ	平成28年11月22日	22
	垂桜	H21	シバウラ	平成21年8月27日	45
6	車庫	H17	ラビット	平成17年8月9日	46
7	辺田	H27	トーハツ	平成27年8月10日	22
8	深港	H12	トーハツ	平成12年12月13日	40
	中浜	H16	ラビット	平成16年6月25日	46
9	車庫	H30	シバウラ	平成30年10月23日	22.8
	高野	H10	シバウラ	平成10年12月11日	53

7 垂水市消防団現勢



(令和4年4月1日現在)

地区別 区分		団長	副団長	第1分団(中央)	第2分団(協和)	第3分団(柘原)	第4分団(水之上)	第5分団(大野・垂桜)	第6分団(新城)	第7分団(牛根麓)	第8分団(二川)	第9分団(牛根境)	合計
		人	条例定数	1	1	70	34	31	32	21	36	25	30
員	実員数 () 内は女性団員	1	1	62 (7)	27 (1)	32 (1)	30 (6)	16 (1)	33 (4)	16	20	21 (1)	259
機 械	消防ポンプ 自動車			1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	小型ポンプ 積載車							1					1
	小型ポンプ			1	2	1	1	2	1	1	2	2	13

8 階級別団員数

(令和4年4月1日現在)

地区別 階級	団 長	副 団 長	第1分団(中央)	第2分団(協和)	第3分団(柘原)	第4分団(水之上)	第5分団(大野・垂桜)	第6分団(新城)	第7分団(牛根麓)	第8分団(二川)	第9分団(牛根境)	合 計
団 長	1											1
副 団 長		1										1
分 団 長			1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
副分団長			1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
部 長			3	2	2	2	2	2	2	2	2	19
班 長			8	5	5	5	4	5	4	5	5	46
団 員			49	18	23	21	8	24	8	11	12	174
合 計	1	1	62	27	32	30	16	33	16	20	21	259

9 勤続年数別団員数

(令和4年4月1日現在)

年数 階級	5年 未満	5～ 10 年	10～ 15 年	15～ 20 年	20～ 25 年	25～ 30 年	30年 以上	人員計	平均年数
団 長							1	1	46.0
副 団 長							1	1	38.0
分 団 長					1	3	5	9	31.6
副分団長			2		2	1	4	9	27.0
部 長				2	2	5	10	19	29.6
班 長	2	6	16	3	7	7	6	47	18.3
団 員	74	43	29	9	7	3	8	174	8.4
合 計	76	49	47	14	19	19	35	259	13.6

※平均年数にあつては、小数点第2位を四捨五入している。

10 年齢別団員数

(令和4年4月1日現在)

年齢 階級	21歳 未満	21～ 25 歳	26～ 30 歳	31～ 35 歳	36～ 40 歳	41～ 45 歳	46～ 50 歳	51～ 55 歳	56～ 60 歳	61歳 以上	人員 計	平均 年齢
	団長										1	1
副団長										1	1	68.0
分団長									1	8	9	65.7
副分団長						1			3	5	9	59.1
部長					1			2	3	12	19	60.7
班長		1			6	4	9	7	5	14	46	52.9
団員	1	8	13	28	33	22	23	10	14	19	174	43.0
合計	1	9	13	28	40	27	32	19	26	60	259	47.7

※平均年齢にあつては、小数点第2位を四捨五入している。

11 消防団出動状況

(令和3年度中)

区分 地区別	火災		風水害		演習 訓練		広報 指導		特別 警戒		その他 (会議・研修 等)		合計	
	回	延 人員	回	延 人員	回	延 人員	回	延 人員	回	延 人員	回	延 人員	回	延 人員
団長	0	0	0	0	4	4	1	1	2	2	6	6	13	13
副団長	0	0	0	0	4	4	1	1	2	2	5	5	12	12
第1分団(中央)	1	1	0	0	6	35	5	14	7	53	7	27	26	130
第2分団(協和)	1	2	0	0	10	75	5	10	7	26	7	18	30	131
第3分団(柘原)	0	0	0	0	3	24	5	9	7	38	7	23	22	94
第4分団(水之上)	1	1	0	0	4	20	5	8	7	27	7	28	24	84
第5分団(大野・垂桜)	0	0	0	0	3	15	5	9	7	32	3	11	18	67
第6分団(新城)	1	2	0	0	3	21	5	8	7	31	7	17	23	79
第7分団(牛根麓)	0	0	0	0	5	42	5	9	7	12	3	15	20	78
第8分団(二川)	0	0	0	0	6	49	5	9	7	9	5	16	23	83
第9分団(牛根境)	0	0	0	0	13	115	5	9	7	14	7	17	32	155
合計	4	6	0	0	61	404	47	87	67	246	64	183	24 3	926

1.2 消防団員教養状況

(令和4年4月1日現在)

種別		年度																			
		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
県 消 防 学 校	基礎教育科	2	2	5	6	5	6	6	7	6	6	6	6	6	6	10	11	15		4	
	機関科	2	2	2			2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	3	2			
	初級幹部科		2			4	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1		2	
	中級幹部科																				
	指導員科	2																			
	指揮幹部科	現場指揮													1	1	1	2	2	2	2
分団指揮														1	1	1	2	2	2	2	
合計		6	6	7	6	9	10	10	10	9	10	10	10	12	12	16	20	22	4	10	

※令和2年度の学校入校については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策により大半が中止となったもの。

1.3 消防団員の報酬及び手当

(1) 消防団員の報酬 (年額)

(令和4年4月1日現在)

階 級	報 酬 額
団 長	140,000 円
副 団 長	95,000 円
分 団 長	73,000 円
副 分 団 長	52,500 円
部 長	45,000 円
班 長	42,500 円
団 員	40,500 円

(2) 消防団員の手当

区分	出動 (1回)	警戒 (1回)	訓練 (1回)	会議等 (1回)	機関員手当 (年額)		
					自動車 正機関員	自動車 副機関員	小型ポンプ 機関員
支給額	8,000 円	4,500 円	4,500 円	4,000 円	20,000 円	5,000 円	3,000 円

(令和4年4月1日現在)